たる諸官制は大日朝令を以て公布

けふ公布施行

四揃つた、これによると二十七件に達し重要國策氾濫時代を思はせてゐる。これに對し林數團戰略是就にはには既報の通り本所懸論でその取職的を急いでゐたが、 六日午前中官房、 專賣を除いて全部

移局長は六日午前中これを内査し午後今井田政務總監と愼重審議して、この中から五六

| 変情大臣に具申することに決定、| 空地事館より緊急動脳を提出拍手

官房及專賣を除いて二十七件に達す

竹の重要國策豫算

| 突加西南側と呼鳴して中央に反統 師と長江國歌以下師、飯歌を至こ | 渋江方面にあつた何襲軍は、四日 欧な叛紀続起し、二十五軍の歌呼。 | 【阪東五日間盟】湖南省西部武國「威戦東南部の装霊に土着軍の大脚

れる、以上の形然に驅戦し消息通仁軍に合流した、環州では三百重都・り流説状態を呈してゐるの第土候項を修正する高泉と見ら一を翻へしらも「簡節は直もに靈西」十数名よぶ日歌國を通電するに至

畵 作

築庭家之界世

各新聞、通信社を認めして日的門 木墨科、适内壁相、水野海胡、幫母文相、等內壁相、水野海胡、幫母

天地支黃

財 国際に、 常園の下野球の境主だ水 つた。 いつか 観覚の 徳に 壁候して て、そこへ参索してるだが、 常田 の上人の膨滞は、 係りに手強くも あり、 腹方や子たちの生治にも不能 使が多いので、 自分の簡単の宮村 な けれど大内國時は、それではまなが何だしなかつつた。近國はおろが一般に立かつつた。近國はおろが一般に対する人々の信仰は、日に、一月に圧になって水である。そして一月に戻に立って水である。そしてその歌歌の中心を求めてやまない。 つ立に統一升の肌がの夏に出毒に傷にける陽

へ、 聞き解へた門徒が來て、 旅装 | 親鸞もそれをゆるす

うというてゐ

亚苯番外四肌 管 マあ 効 乳虫蚊齿けれ

W)

林省の異動は六日左の如く建令さ

が物道に完出した前生常認立の歌 一度、各格學代表・千名田庭し北路 を、各格學代表・千名田庭し北路 を、日本中の東京優神器の本部に明 のは領道月曜日を定例登集と決定 は、各格學代表・千名田庭し北路 を、日本中の東京優神器の本部に明 のは領道月曜日を定例登集と決定 は、一方日・一部に表現が出版。 を、日本中 141 を 、日本中 141 を 、

東京電話」寺内陸相の一宮か田

故近勝至南知事後低として閩南内務部長松本伊織氏の扱揺による内

| 新願史|| 本府事務官大野藤一▲(江原)本府選事務官時谷小一各國〈出現を命ず(各選)

任朝鮮總督府全羅南道知事

(慶古)本府道事務官

増ブレンネル峠一帯に大軍を集結

を暴げることに努力しよう、総修は五日午町九時学より大阪市「歐地楽師が解長、市内一・二等局「診論・院頭「戦災将金町」以来「自分追が協力して利」と近続大阪総合局管内後来政戦合「日は大阪総合局山地総合総長、総一張の総系は大子大首名を記するの後来員は特別會計「モナジオンの『明らって』、「オールオンの『明らって』、「オールオンの『明らって』、「オールオンの『明らって』、「オールオンの『明らって』、「オールオンの『明らって』、「オールオンの『明らって』、「オールオンの『明らって』、「オールオンの『明らって』、

名は六日カーキー色の作業版に

模様である、月下鮮肉に在る証見

「干ヶ所(内地は七千ヶ所)

適切 な心のがであるか

態繁期になると約六萬二千人一説明されるものである、本所動館「

【東京道話】立数學園鑑師は、

日動車崖下に頭落し

和守ら重傷す

八萬國を編纂し恒久的事業にする

宇度から年次摩察として一ケ年報 | 唐であつたものが、三ヶ年後の今 談を消逝、これに襲する疑蹤は明 | 年初めて鮮色に載けた時は三百ヶ寒として『紫射波紀所の格棒散射』つてあるが、成蟜も好く、昭和八

一日では二千ヶ所に源増してゐるこ

屹をはかつてみるが、これが助長

一つてゐるが、成職も好く、昭和八

託見所で平均三十人の赤ん坊を置 の出資や補助で経費し、

か 所 の)

本街ではかれてから農村振興の敵

分して北韓都楽に続する具館楽を | 所には本形から表彰するをに内定。 | 名 | 一年 | 「 と | 一年 | 一年 | 「 と | 一年 | 一年 | 「 と | 一日 | 「 と | 一年 | 「 と | 日 | 一日 | 「 と | 一年 | 一日 | 「 と | 一年 |

本府 では最初と都市に

作つてあるが光づ農村社園事業の

した、なほ現在の歌見所の部巻は

す理事會で決

學生、校友、父兄ら意見一致し

立教學園の蕭正運動

まなるものは次の様なものである一部港の有志や、隣女爵、面事務所

更に近く今井田職務器監が差費長 ジャンダークとし効果を続けてる。

各直から朝鮮民衆 安心して男子に交つて弟取に

となって開館される社會事業訓賞 生活に即した社會施設家を取締め一 いたける社会事業の具備的振典 機構的では今次の別事館はに「毎一

我極端に北京事業施設に乗り出す

本版では形形は一萬ヶ所 ものとして純粋事業劇館書では本一てる模様である。

一断の方針に双手を駆けて管成して

緊則に散け、殴対婦人の屋外野働

一千五百ヶ所の肥泉所を農

・雌は雉の幡に似てゐて羽毛は茶

一球横断は絶對にまかりなられと厳

は游泳シーズンを整へて渡江の前

つた雄に服従すると云つた面白一石鴻翠堂が戦助したが、龍山客で

聞を行ひ、雌は傍らで歌観、 雄師志は奇獣を能して猛烈を野性副電によれば、春光になると つてセテン・ベルグマン氏の割 世界にも珍しい島で、雄の毛色 談官を通じて宇垣譜督に贈った

捌

て危く耐死せんとしたのを演山器

期は室の中でもぐらももの様な「で施設中の水泳場も改正統上流六」々村は日本の本部除地番と共に國

重取締ることになつた、荷京城府

【ベルリン五日間温】オリンピツ

軍馬四十頭

十一日に買ふ

肝可を受け二、三人でも五十人飛」は大いに慰められてゐる

由外出も認めず、外出の場合には の後一時間まで許すと云ふ有樑、

し、新聞記者に對して木間と目職 一般人に對して嚴重に面額を禁止る

のバスを出すと云ふ大袈裟な有様

1 白頭山スロープに住む黒電点は

一ではなく、消滅中の少年をも… 今夏すでに 五名の命を 陥つてゐ

> 百米の砂原に二、二日中に出来上 イ外では絶対に微能を禁じ、違反 り別様するので、この水泳場のダー番は厳しく取締ることになった

府營水泳場は近く出來る

オリンピツク何は

際家分斯く濃厚

規則立つた村の生活ぶり

監督はチーム統制に努む

削上時半總督府を訪問、小田通 立派な制造に仕上げて、六日午 珍島監督島一番ひをこの程施を ルグマン氏(こ)は、日本領土内 原物館別種物研究部長及びスト

では白頭山スローブだけに住む

サクホルム大學教授セテン・パ

横斷は御法度

水魔の跳梁に備へる當局

一般けてゐたスエーデン王治 北鮮一帯の動植物の研究調 殿北朱乙を中心に到一ヶ年

瑞典のべ博士から

野内の脳経動破別を打ち切り、 生話をしてみる

スエーデンな太子殿下の御指属

闘する(葛龍は贈生の光景) 九月毎日光その他を記録して記金剛山、監掃那国等等を見録し

★ 田三之助▲八時俚謠(廣)★ 上時三〇分誤領(東) 留公榮基礎英語謀座(東) 留公榮西小學校兄童▲六時二五分西小學校兄童▲六時二五分

作の男は黄金町三丁目の郵便所に ゆく男を本町署員が追続した處。 面に向け無蓋札の自襲時に乗つて、統京城黄金町四丁月から三丁月方

家から件の無効貯金連帳を砂取、 みたまく正他がついてゐるとは知 | 預記和信徒服部で買ふと称し若丁 するうち匠母金を消費したので、

り森永々が時作したスキー 人外交官

- ●標準血壓-

交話となつてミッコ・モリナガ、 ール、半島の搬さまへの美しい外

大五歳…一三三ヶ 大五歳…一三三ヶ 大五歳…一三二ヶ 一葉き、病原と症狀に適した血液浄化療法を詳細懇切に致へらる 行くか、手紙に卑勝を配し急ぎ依頼するに

此病で 悩む人は迷はず早く信用ある大阪阪

信用ある大阪阪急が銀二、國際加令津研究所電北四五津を出し、全國各方面の同席者から非常に感謝されてみる。 選した養生法を扱くて、全営不治とされてゐた、多数の難録 薬晴しい血液浄化劑を見し、その服用と病原に

限る!博士の權威ある研究と經驗

関取的の

今津博士は野門の醫學博士と帰力して

言語・手足の自由

も叶ひ

脈糞でき家内

サービスをする(慰しなミツコさ (右) とチカコさん (左) 側忘れ甚級。仕事に根類頭かず一寸した事にも慰切 色々と消骸して消壓も下げ候も、暫らくすれば又々 れ感し、時候の題目には神經痛に苦しめられ族に付

料理の講習の講習の問題 然脳盗血にやられ舌モッレと半身不服にて悩まされ 元以上の心壁に上るので殆んど常窓致し国候と、突

から京城旭町京嘉久で明く、材料 全般天氣豫報

れた個の塊か盛んに入賞されるの

大昭雄方では名記家、質兄は目下して、質素は麗父の代からの僭跡で、暗 锡 (成一五度六(六日)正午廿四度:京城温度 (五日)最高廿九度 、明:時景【閉日】東の風明 【今晩】東の屋

聴いて驚く 普遍ノ音質のよさノ

家造 本郷は小登校で町と田舎を間はす女子 東で観響と島・駅海は13日の掘りで ますから戦略でも手に那髪組糸は傾合し ますから戦略でも不飯馬で取引出来る 且下資料な条件にて観響を高います。 東の111日半十二尺が成上し 東の111日半十二尺が成上し 東の111日半十二尺が成上し 東の111日半十二尺が成上し ◎年中無休…收 入確實◎



辰村の婦人の屋外活動を助ける

の託兒所案

具體案討議 託兒所の設置

||一て肥泉閉で保命され、鷹可加入も||の評賞は一ヶ所三十組から五種は。所の繋ぎ大人、当正芸長女教徒、|| 方約化主事并合題を開催。 非達知の赤人野がおゆさんの懐から斃れ || 郷の羈べによると、殿繋が原原 || ある、なほ歌見聞の聖君には統立。 殿村の世野原院の沙胤を受けた各一造版の知事動職で本府より撤長的 るため一日から四日まで膨北道が 患北道ではこれが具體深を観立す 道では、月下それと、道内の事例 1 周囲しい施設を破究中であるが 機馬は左の通り 電び酸部長吉村一等町酸正で、費の臨時階員を行る、開資管は朝鮮 京城東大門外府營家造市場では十一 総十歳加後▲総格県馬及熟馬向 | から一時中まで、滋食後また六時船十歳加後▲総格県馬及熟馬向 | 間に領質を掘つて、懲戮は十時半| | 版は左の迫り |日午前八時から約四十頭の軍馬||である

地方社會事業に本府の吉心

| **| 屋外** で動き、農村振興の 方戦であるから、農村振興も監察 切の世話館に窓時的総し、記号所 本樹から器師として竹内浦 1、均安心して男子に交って第成に で、明年度から本樹より補助する。商家の奥さん等を認動或して深ん。梅食予覧卓部總出動で開節を行ひ の主婦の結婚でより以上で応する。は電路集団所、學校、林豊等を常

田松三南氏が参加・田兄所総督外田松三南氏が参加・田兄所総督外

國際水

順序組合せ決

日本は九位でB組

東るべき第十一回大館ホッケー薫[二、引合Ⅰ、貧〇の発脈方法によールリンオリンビック規模に基き]法は各組別にリーグ職を行ひ、勝 二、三位をそれ/人口、四位以下。に入ることとなつた決定した、組てランキングを決定。右により一。あるが、若し参加した場合はB組 年迄に至る過去の職態を基準とし 参加十四國の一九三四年より三大 屋桁委員會は五日パリに開催、 五日間間 | 國際ホワケー関 ガニスタン、デンマークとトー った、なけスペインは鬱加末定で メントを行ふととなった。試合方 より最後の顕微を決定するととな

のドイツはB組、七位のオランダ B、ドイマーフガニスタン、日以下十四位をAに各配分、この結 A、インド、アメリカ、ユリ下十四位をAに各配分、この結 A、インド、アメリカ、ユリニ十四位をスに各配分、この結 A、インド、ハンガリー、チェッ七位るひ、八位以下をB、十一位 合せ腕左の通り |はC組に入り、日本はランキング

自分も凶励になるべく釆城したが 満洲國の公路を勤めてゐるので、

今春主候県の人學試験に洛第し、

は西小門町から各一味を餓雞取調 東大門署へ級器された

一散に、以外元漢城券番妓生

て教尺の崔下に駆為、自動がは大破し、張雄寺は今流・護間、境保安議長は武・護間、小宮岩長は賦っる四日午後九時四十分頃沃川郡郡北面、晋里の孫県にさしか入つた際、迎戦寺が武不馴れのため謎つ

迎朝于は輕傷した、直に一局を大田置立魔院に贈ぎ込み手

交通は際のため外一名と志・鬼伽斯恵果婦科所有の七人聚自動和に便楽、沢川より大田に向ふ空中、 去郎北沢川郡守敬地、遺傳院惠長培清大繁郎、沢川對長小岩を四郎繁郎、地方郡懿武立志註の内氏に、

同學長の延命を許さず、七日の理しとの意見が有力となった結果、

| 展態の近手はは常局の最重な取締 | 大門署は細路四丁月から、

魔窟を 一齊に手入れ

師路、東大門兩署が

事留で一気に二の離職を決定する

府内各所に時の二、翠垣を減し、河りの眼をかすの、佐然として京場

片、モルヒネなどを水めて集ぶ男 女がうこめいてゐる事を深知した

見られるに至った(鳥頭は

鹿兒島劍道軍

大日本武一東大門、瀬路柳宮では、五日

明英に集合、この際木村學長の際 なった、今まで龍融してゐた慰生 祖に手を振りこれと目抗するとに 政と五日夜學校射北で館合、暗默政と五日夜學校別は、夜友同志館 理事と結ばんとしてゐる、これに學部の延命をはからんとし、一部

文兄側では五日午前十時池袋餅

職を決議し撃庫の膨正をはかるべ

四氏生命に別條なし

週間、金屬版は同五週間の重腐を買ひ、

東氏(*。)はは元顕路タク 京城顕路四の一八 展手をのばしてみた事が利明・ に変な~、狂遊をつくし、一味 に変な~、狂遊をつくし、一味 は某朝鮮人を使つて有閑酔級に なる。

無効貯金帳で 排出しを迫る男 七日午前八時 | 去る六月廿日堀金八百圃を持つ 無知な泥棒遂に御用

喘腦息病

がか

一大小的原理的人大 島町の最福地角 一部の場合の大人の音楽 会が柳田シャツ製造所

て貯金の鑑成しを求めてるた。代したことが動つた 入城、罪かなデオンの街に出入り

とて、二、三日に即に附近の根果のた、男は安國町の腋工李鳳士(二) 便所覚がその男に質問して居ると いあいた既命機は無動ないで、

特のた。

||腹部分割く濃厚となった、村では ||まで、練書、八牌晩餐となってあ 一音楽夜はシネマがあるので各選手 明ま、チーム統制に寛全の後を描から十一日まで丁子館で、十二日毎朝朝食後 監督機能を しまで三越で、ミチコさんは六日本・十五 倉番の悪事 から十五日まで三中井でモリナガから十一日まで丁子屋で、十二日 した、チカコさんは六日からよ

この南三年來前陸二百ミリ以上にて耳鳴り頭取く

時間自其國、重量五十二元に切ら **設近果大門署管内各質店に何れ** 錫を入質す

コスアンゼルの所称比較に回旋機

村の生活は

六時起床,

で不安に思った東大門智能が調べ て同層社の個の地を別取してる 五月一日から引戦き歌回に亘

J=0=-金卅五圓 最新式警及型

事制明、五月夜、

平 湖 河 河 下午 午午 使用 使用 仁川の潮時 7

正札附の洋服

和信出口で御月

【今晩】東の鼠

邱斯唐山町李相版(16)十二版名…と 帯手を釧路着民が敗調べると、大 い洋服に、和営の正程をつけたま

→ 売用に及んで、

膨々と出て来る。

ルプダーボータクビ

社 員 招 聘令般全解に亘り優秀なる外務社員を招鳴す希望者は履歴書送附左記最寄の支社へ照會あれ中央支社管内 京畿、江原、忠北中央支社管内 京畿、江原、忠北中央支社管内 京畿、江原、忠北市外土町大邱府元町一)五八南鮮支社管内 疑问南北 黄海市 大邱府元町一)五八南鮮支社管内 疑问南北 黄海 水平的水山町入八!三湖南支社管内 城鏡南北 間島 當分本社へ北鲜支社管内 城鏡南北 間島 當分本社へ北鲜支社管内 城鏡南北 間島 當分本社へ北鲜支社管内 城鏡南北 間島 當分本社へ北鲜支社管内 城鏡南北 間島 當分本社へ北野支社管内 城鏡南北 間島 當分本社へ



は西煙宮、淋病梅毒、便塾、偏食、腎臓病・冷え込み、過等、心配事、大怪我・大息ので、血液が適つて簡明が悪くなら覚め起るので、血液が適つて簡明が悪くなら覚め起るので 脳溢血や心臓疾痺で暴れたり、又は対極衰弱・痛みハレふるひ・シ 神經衰弱・痛みハレふるひ・シ 動悸ふらく、喘息・便秘・不眠 高にり頭痛物忘れ・耳鳴目まひ 半身不随・舌もつれの中風となる 今津博士版本的 人災·海上·保險

血液を浄化せば治る決して不治でない事を確めた 本海

京城府黄金町二丁目 電話本局二六六一番

视点城且報三十周年 京城府本町二丁目四十八番地

樽 元 **拟新本局九一七番** 商 行

監朝鮮商業銀行 定 州支店

今日には舌、宇足の自由も附ひ説問題り商製に能够依り。原歴を耐次百五十号り迄降り約一ヶ月中後の

が、中津先生御殿見の血液浄化物の服策と茶生に

同幸福に蘇る

配原城且最二十周年

同病の方は迷はず、急ぎ虹液部化剤を服用して全

家内一同、深層の春を辿へたるを覚び居僚

養尺 山下三治郎

钬を計られる深切に御奬め申上族 大阪市 吉原宮吉

• へあれば!

解かわかれ 面げ 命

朝鮮生命保險株式會社

中百条百八二症病下性慢性急

れた目は『出来るとい人人は丁英立らの母科教を持つてあるの類似とから天然を語って語る影響をはし、日の言語もなることので、文子のの関系に関われたがら真似まじりにスリルを帰はつてある今秋郷丁の遺伝この変面く大き間に違う事題からよく暗しいの影響とは、ことが出来るやらになった、頭上で閉線的です。ことが出来るやらになった、頭上で閉線的です。ことが出来るやらになった、頭上で閉線的です。ことが出来るやらになった、頭上で閉線的です。は日を見線であるが五日は登に二百世五尺の高れた目はでは、一方の高い、一方の高い、

のお朝

煙突の仲襲、日毎に目立つて高くなるのに人々

鐵路總局發表

国子の他重要性類の近人つた金庫「重東國への結果、同項主宅に十二、 が新先してゐるのを小使得難賞(で」)には、使用人十一名を召喚、展出が新先してゐるのを小使得難賞(で」)には、使用人十一名を召喚、展

| | 丁二百開場関銀行車金頭根|| 薫 はじめ、原形人十||名を召奏、版ク人經營)の校長部にあつた現金。と弱み、歴初の観見者たる小院をク人經營)の校長部にあった現金。と弱み、歴初の観見者にない版を天 野科場門県校(テンマー)は犯人は内部の事態に帰道した潜

華天」去る三日午後五時過ぎ小」り呼吸された金剛を観記、常局で

直ちに摂査を閉始、四日午前九時

こが超見、旧出でにより當局では

任業と判明した

やかす偽貨幣

偽札影を潜め一安心の處へ

怪しさ一角登場

サイユーカンドロー

短數 大阪四大三二五學

個

質ひながら松岡の上途に連躙した陸繋部帯は電銃で狙撃され重断を

折角の天然保存物の保護の手空し

これはしたり鳥の巢異變

州一 宜」を辿つて翼を体めるこれらの島は、ギヤングのため荒壁の天地化せん。してゐたものである、難では一殿「勸醴」かもめ、うとう、しらさぎ、魚群、脅威(なり、天然紀之物は心なき)て府内を俳優、削記備後国に投宿

げた、取調べにより右は順川郡舎

人面部山里丁一頭(むといひ))年

めがけて飛び込み無機な難死を送

福間を進行中、朝鮮人老婆が列心

- り部入一九列心が変山店、舎人【平場】五日午町一時半年平元線

自殺と過失

無残な轢死

数の島が別を産みにやつて來る一面に致り捌き、折角の樂館も島の、ある の樂歴を永久に保存するたい期の 署ではいくら親情をこめて暇らら、敬古るため總督所では昨年、天然 海上の無人尉なので樂園を歌る部 は、このが概を影る天然奇勝を帰ってあるが何分交通不便な場もないでうし間を養みつけて行してこの名物を永久に残したいと 探取を厳禁したが、心ない源夫はとしても島の樂園は健らに違い影 をかき流し卵は平南及び観度部方の疫情もたと疑惑のたねとなって 漁業に來たついでとばかり品の類 と消えて島に帰げるサーベルさん 及び韓連國刑事はこの程延吉母春 過世の脚辺を得て山東省智能生力面に出頭、原発三道得からが井

局飛び雇員失敗 遊興に身を潰した南浦府廳員 郷里に舞戻りご用

延吉勝三名口からも一名の記事

股源努司法主任崔蠡部都

はず無疑鍵化、身元は日下取調べ つた際一老人が列中直前を樹椒せ

八年振りで

が古色繁田間の踏切りに差しかか

符にたへかね自殺したものと判明 **削夫に訪れ年老いた身に繼子の唐**

銀支座より建金の支腕を与け続を「たので敵角那が背東地帯部長が一見、四日夜の終列時に緩降内を辿れ上三面の小切手を着頭し両目的「調五日扇縣繋線部より入電かあつ」近に倒れてゐるのを晩練工夫が纏り郵殺した小便校師助金「平四百「縣へ立聽つたところを逃げされた」人男が離死の重傷を買って網路附り郵殺した小便校師助金「平四百」縣へ立聽つたところを逃げされた。人男が離死の重傷を買って網路附 らました観響部所感粉型展現金(名が母類引取のため五日内地へ急)行中刺れ飛ばされたものらしい

女ゆゑの罪 昔の秀才が

文なし宿泊 地震で崖崩れ落ち

はイイとまた家を飛び出しまた。 | 中央・一大学のである | 中央・につかず、途に彼女のため | の歌音から出言が月1年3月 | では今所を破り死に至らし | の女生文明深(しを知つて以来句 | 繋のた 地域) | しまっち | の女生文明深(しを知つて以来句 | 繋のた 地域) | しまっち | の女生文明深(しき まっかた | の女生文明 | りまっか | の女生文明 | りまっか | の女生文明 | りまっか | りまっか | りまっか | りまっか | のまっか | のまっか | であっか | のまっか |

仁川の醉興の殺人

の動戦を置て合うとことが確った。関しに飲み合うたが、例が配らら、7711110にという。 いっぱときても助機となりまたな。は異然の機関から仲好くなり電低。年年月成文の金七百回を活出した。 の動戦を限り殺した巡戦手間兇線、花町が出所職金文成改革派で返と、姿象後編書側を共立にある文の許の動戦を限り殺した巡戦手間兇線、花町が出所職金文成改革派で返と、姿象後編書側を共立による文の許られて 能を捨て終ったことが削った 川」既報。記解の結果もに丸。けられたがポートで再び街に出て に浮れて変ぬく帰宅した といふので飲み足らぬ稲は腹をひに浮れて変ぬく帰宅した といふので飲み足らぬ稲は腹をひ

じつたゝめヶ今夜は家に歴ぬ々と

まさに運命の悪戯

邱南山町の 伯父を称ねて 来たが 郷を卒業、在場中は男子といはれ 報号(fi)といひ四年前京都平南中 れた寄年がある。南山町二四九李 前備後届から大邱客につき出さ

家屋の破壊、石塀の崩壊など

珍らしや被害續出

つて來るや西域館の部洛民十數名 な本情、金浜窟の雨氏が用事があ

有自家出货物自動品 (思南一〇八

トラック御難

四日午前九時四十五分館プジチュ 七號)を巡察者要永秀(『二)が巡察

ウ醬昭大橋十五度を歌版し大田雅

怪盗は模範傭人

る銀行事性のឈ聴は職者の出日を撃に出でたもので、就關定をめぐ

保安主任に宣鞭され縮はれた…… 、大昭、金県の各地を店で約百町 所成を贈し夜点で質繁中の野師が「行商しながら六月九日遊館、篭山

【大田】硼酸を『記禮答』を称し | 繊酸斑蛇に 製化し九州各地を行助

南鮮を股に膺薬を賣る

奉天醫專の大金紛失。。件

意外な犯人捕まる

| (以政治 | 1.1 | 1.2 | 1.2 | 1.2 | 1.2 | 1.2 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 1

る、なほ単は前部大破し隣四一年

なかつたのでやられた金銭買はど

うせ不法に

歌られても

保護を加へ

られないのならばわれくしも聖行

腱をかけられ谷本、金屑氏から半

山岩第二一一貨物列ルが京城起転 【汝山】五日午前五時五十一分改

郷省男("元)の行方については至國一行した

N開するに柳春戯は昭和四年の 型容疑者を引致取調べ中であるが 監ト渡辺ら吉方を数名で襲ひ第一 門東部級丁軍の原新を威で松本 脱走囚人は床下に潜む

繁部術と見露に神中でお贈し、江「午町八陸頭から実和行方不明とな「配して屈邸人の理査に落つたが応期的由で研養が綿城務の正確」二一傑中であるが、三日の起床監呼後「飛、鳥歩殿、米院等院」を使く手大狼人である、 なほ‐はその常時、六年を言述され諸宗が務支所で服 して贈扱、直もに陰東、忠州、公大狼人である、 なほ‐博はその常時、六年を言述され諸宗が務支所で服 して贈扱、直もに陰東、忠州、公 とんだ人さわがせ

姿の貴方グ 節に全国を風靡した。 「話」あつた 局から全職に亘りキッイお選ぶが

不法暴行の報復に 闘災を登りき

自ら禍を招いた兩出張員

戦は來る十三日に又匹期した 前九時鏡登支殿で今泉殿事立體、かつた際難死體を認以坡州署からふる濱雕事代第二回公判は四日午 四十三キュー七〇の地脈に差しか 報は來る十三日に交通期した 一機脈したところ関中の手順によつ小出刑事係で融入的局があり、公一加勝道長か公爵を同年被事に赴き また國境に不祥事 かつた際鞭死盤を認見坡州署から

し婚者里氏に歴地に假理的 殿財は不明であるが所持金のない ところからみて生活難のため販売 御日成(言しと物明した、鍵死の

轢死體

自殺らしい

今…… 【群山】 去る 三日開かれた変ク管 内白米杉田業者の打 合館席上で朝鮮精楽

【 監督】 創正部面は両角重氏にか し生活してみたが、作功九月から、慰を咬まれて「蛇科湾」を切り弥(地に横山)「皮の公判」 男でしば六年前から製革本を行動。 品で例の如く蛆の類似の織(他に和いてきる。

【新藍角】安義の國籍的政界に大 | 広界で起記されたものと同じく四 | より少し信いがよく闘べないとわ | 論のこと、心臓や胃炎の強い強 を見合せた判形先弱からデット耳 内さんのピットにヒヤッとして顔 を澄して聞いてゐた村本穀働支所

既は初一萬二千回で急量に送した たが雨間昭を抑り道感である、孤 たが雨間昭を抑り道感である、孤 石炭を南級し黄道数(こが延慢し)とは黄々ないので調査の結果を出、姑娘一味として磨糊に加入し最近「年費」四日午前九時五十分報明 てあると思えらからみて運搬手、調べたところ医院境内西側住所不能差差投資組の第一雙連炭粉組が、直級であるところからみて運搬手、調べたところ医院境内西側住所不能差差投資組の第一雙連炭粉組が、直級であるところからみて運搬手、調べたところ医院境内西側住所不 覧(こ)運搬の第四號巡拔動車 ひ送走中間十時半頃大同郡林殿面 中) ひ総定中間十時半線大師郡城随面「中) 早里で、上五里で石炭をおろし 運炭車正面衝突 機關車は滅茶々々に破壊 『云宮縣』四月午前六時ころ安東 他護あり、温突や除すが微かな音脈五语辿り六丁月三附近で安東路」を立てく振動した 匪賊の密偵 運轉手は双方重傷

炎天から多數卒倒

まざょうら、単して、主義の、 胎形 一 数参列番敷名の外初等敷枝鬼顔 | 定債をつけ、これを貨像のためと| 鑑売すになり、歌つてもいかんと| 高密住三名、スピヤ女歌生一名、 超遊に納めて一圃、一圃、四圃の駅上面白くないといふので々起致| けたもの光示高女生土像名、耐女 蘭翹敦富を項にブリキ小棚に詰めの甘いメロデー 「私の貴力」が風 間番飯出、裁診腔に収容手宮を受 | 積薄] などとは真赤な偽り、實は「 「忘れちや嫌よ」と同様、劉泉一一般参列者顕名の外初等學校見重 孫し二十銭、三十銭、五十銭に割 戸町蛇族研究所支部など出館目を 一般質してゐたので熊本市菩問

努めてゐる のため最近 8しく 変統 虫が健生・ 南部一衆 単、 湾流の 附面は単天 迎き面に飾の態である——大同郡 規証に夜流虫が誕生して野民達は 【五個】単天闘さのため脳付不能 夜盗虫に怯ゆ

そこで居前んだ同業者連

色肌に方人婦御般一

呈進瓶用試

節次越申御入封收三手切貸二

(入即名明新乞) 星池瓶用試

地方には何十次間に亘り上下動の【清州】四日午前六時六分頭荷州 人与協家 打ビリムに / 友儿

中出資待優御者用愛 くなれ洩に方の上質お伽一スールプ

れる古典美です とクッキリと溢れる とクッキリと溢れる とりない ままり とばれる 整肌サルモンの作用

色白に方数の翠本日



生々と清新な近代美て出來るお化粧です によくノビる ざれはクリームのこ の新發見です 察敵によくノビます

中出實待優御者用愛 でま日廿月七 ロアニウ品館化・局間・点質百四条

色費に方おの軽洋鉄弾 洋装用のゑり化 の は が よ う こ

星進宛個臺 (平、33)ルーメ島風シャール

これだけご承知なら

母ではあり、浴衣の自由で大戦な性は極く消魃になさいませ、夜の浴衣をお召しになつた時は、化

とこうでは、 こうこう こうしゅう とういの頃の 帰っかな規道色をたく へてみるのがいくので、 どうルの頃の 帰っ

までもありません、それを一思に グッと 依乾すのれからグラスは、たるだけ大きなのがいくのは哲ふ

に時、白い個が上から二三分どころにといまつて、下になめ

にいたつ ては

お話 になり ません。これではピー

企教いたします、グラスに迷い

いふのは、まづ第一にビールを除り合し過ぎるきらひがあ ものです、然し!ピールの真の健闘味を一般の方が、どれ とまでに味つてゐられるか。ちよつと疑問なのであります こそは、真に夏の原味として上戸池の魅怒の的となきなグラスになみ~~そそゝがれるビールの現珀色 せば命すだけい」と心情で個の根にしみ込む。生に命 ビールの飲み加減は番氏の十度前後が最も好適なの ル道から云へば外道です、グラスの中に氷

スを一杯乾して錐談にふけり、また往いで飲みほすといふの ルを注がないことです。飲みさした上へくくと注いで行くの 問いて你むにしても、グラスが空になるまでは、新しくピー は、心なきビールの注ぎ方であり、味ひ方であります。 が、もつとも正當なビールの味ひ方です。たとへ二度三度に

まいので、ビール通になると香ひを嗅いだだけで生ビールと概能ビールとでは、勿職生ビールの方がら

と注ぎ込むは心なきつぎ方 冷し過ぎはビールの味を全殺す

Ľ

ものは生ビールにあるのです、悪ビールはにがみが消されてもののです、だからほんとのフレフシュなビールの縁といふめて数酸したものが觀路ですから、その温めるうもに瞬が落めて数酸したものが觀路ですから、その温めるうもに瞬が落 のますからビールを飲みはじめの方や婦人向にはい**ュビール** と概能の嗅ぎわけする人があります、生ビールを六十度に温

> (81) 戰合畵漫案新難認關 マノイテ

では、九日まで たいものです、ハンドバッグも外 京城三越でひらかれてふる、曹嶷 あつさりした小ふりのものを選び、大倉陶閣新作品牌別館が五日から、章嶷 あつさりした小ふりのものを選び 大倉陶園作品展 なそして競い系統の打組が適當で

の技巧も、あくどい事はおさけにしのものは避けませら なりまずやら、アイシャドーも、 な一夏

よく、美しい大きな目を持つて す、草間、下駄なども、配色の名。開かずに半分り削して痰の方を促 たしますから、自分の足にきもん た、どんなに白くても、ダブノし いものよりは、懲戮、パナマなど

くなりまず

よほど上手になさらぬと、どぎつ

さる方がありますが、みつともな

ものです、選目と、交近いシャ

りつしずるのに、その上にきつく

を入れて、舞蹈化粧をな|

あくまであつさりした感じのもの一治癒せずに改画文化治せる臓を



の、本来なびを申述べにまめられ 御主君の御牌駅间ひには参りませ

瀨戸病院長

進

る事も多いし、原歴の深さを十分 再び摩擦が出来たのでないか見な 及び原拠の手術をやつた後承継す いと明確ではないが、肛門周前突 て置くと振館する、近初のかり



めに無案苦茶になり、じた、或地で、家も穀物も大雨と大洪水のたべいがいでは二年年の大旱りの後 思はれまする。依つて、 女子代どのを かだー

聞き入つてゐたが、 なされて、御無用に述べされるや と反対した。安善学は、ちつと

京兵衛幸高が、宋だ雷鷹に参らの 「マヤ、それは可かん。其方は 思へは一度も多ったことはない。 て、萬事具方に委せるそ』

前が逢つたさらだす ...

設新の砂漠

発すで駆けし本日、何しに左接な を申上げたが、御主君の御気質と解放。以目る。 屋早友干代と申す に掲げる、 此匹に就て兵服御倉見 悪計があらうか指述、処指に對し されば、楽高のみを責めるわけに あるからお互びに往来気ずことは は行くまい。形文、配世のことで てもかならず器ると段原数しなが一放、強つてまゐるとの仰せ、此上 臣の中でも、最も腕則の勝れた者 に相成る、此些に就て兵軍御倉見 揺きによつて、名島の城へお越し 「狭、明日は御主君が、黒田家の

たこともなく、突然明日 お出を申 込むとは何事か命てのあることと

しの形は、何幸胡病」の御披露を

と申すが、この友舅とても宋だ名。は危いと思つたから、安徽守の家 と、言つた、兵庫は畏まつて引

ころには、近代式のホテルや飛行が辿じ、誰て死の谷と呼ばれたと モウジャガ沙漠には今自動電道路

讀声槭

ら、既に作病を構へるは単法であ

申上げませぬ、配いては、恐伊むす 「されば、峠一つ越せば、黒田 「それ迄の仰せ故、重ねて御感見け

局どのなり、また長釵どのなりが らせられまするに、米だ官兵衛挙一土産のものに就いては、兵軍に 程代件れるぞ 分である。名品へ参るには五十々 れまする人數、及び先方へ持巻の「それは危き事、何卒、明日召伊 スルと兵庫が

「滋養豊富なトマトの調味料」

和食。洋食凡ゆる御料理に

かけて美味しく召上れ!!

メーソース本館 愛知トマト製造株式會社

「ウム、左標か、デヘ、其方に

<u> 友子代元報御出生、最早二歳にな</u> 御遺はしになりましたが、今日は 準局限の息女八重姫さまを富國へ 総子は衛訊盛きて和談を申込み、 **すやらにして、** れる脈、幸ひ、御主君の御武連媼 り、大勝を仰ましたるが、黒田 また軍卒共能く君の御言葉を

のが良品である。

朝たん 上なす 墨田親子の悪計とも 「尤もである。配世の時は、頭職

一数となつて居るが、併し、明日は一鉄、窓廊など申すものが唯一の遺 男の恋生就である。こすれば、 や彈無はよろしくあるまい、

| くも無田家の歴歌を終して、これ|
下がつたが間より名智の人物、早

州家の間に不和を生じ、三年に亘 にくお考へ遊ばすやう。先には ヘルと、傳送寺兵庫は一門東出 招待されて かつた。 ソコで際法等兵庫も機ろなり と、言つて安藤守は背き入れた 島 伯 _美 鶴 畵 演

事を変せ間で下さりますでもの と言つた。友房が、

ばなられる、就中学局とのの如き一事一世級すが、兵即、

個

=

ν

0

ます

箱手玉ンダモな麗華美優

六本 好 Ø 生

> Įζ 質

最

ø

頁

は と 樣

ι

L 方

τ

術

Ø

齒

贈

齒 は 資生堂

で Ĭζ Ð

す な

円八十銭

痛性 ば。 が一番だ

āŤ 藍 元賣發造製

應症

() おに店栗園全)

所究研藥製大六

生堂齒磨

あなたの

公自役ならば、水刷毛を十分便

さにして或無度までは確なしにす一 女工帯 は、あまり幅の低い

俗衣化粧にはお忘れなく

ですから、《清雅》といふ一部を一がよろしいでせる

ンデリアの下で見る時とは進ふの

のが高ばれてゐるやうです

物の袖は、冬のもの

平常大きく結ぶ部間のついてある。

ます、着しの地質としては、身りは同めに抜く方が原しげにみ

小おんまり、きつちりと結びます

の形をよくあらはすにはジョゼ

などの部舗もので織のやわら

つて、浮いた自動を落し、紅狐は鮮

すからいお人類を思はせてしまひ

俗衣の時に於ては、その下品な結 米をびつくりする。歴表はすもので

くなるでせらが、あくどい化粧は 殺妻から、魅い切つた化粧もした

明な色がよろしいでせる、化粧上

外出姿を・・・

。も一度自己批判して下さい

0)(場)

|部分だけで獣のところをちよつと| 綴っておけば、 並派な状除けにな 相當洗煉されます

> ら、やわらかなものゝ万がよろし 却つて身體の線を汚くみせますか

更は鑑ひの半熊は絶對に用ひませ ろしく、よほど機能の場合のほか のやうなこはばつたものを召すと

☆…半様は、淡色で無地ものがよ

ぶとよろしい、しかし、肥つた人一つたものとか、距離など、やはり

解稿の厚い人など、風や明石 夏の帯として適當でせる

王命とすれば隊、明石などを選一です、名古屋帯の芯のガッチリ

へん居くるしい感じを見へるもの たものは、たとひ紹であつても大 腹あはせのものなどで・ブタつい 方でも、なるべくそれを避けて、

て三の部分が透けて見えてあるの

質のものですと心配はありません

一枚でも少く石で、出来るだけ留。透けてみるのは欲じのよいもの」そして、経域の場合と同じやうに「わから枘のものが、音妙の下か 胸には特にめた。にかて正めて、一寸から冬物の長端部より看長めに いた、肥っているっ

ーから太平洋学まで申びて行く記 コストフー完成しました、この街道はモスコ 文……」

界知識の

完成した部分はハバロフスクから

|コムソモルスクに至る支線の路も | フリスとの間||干哩の近が今遺ら | 形する船も去る六月十日限りで引
ウラジオストックまでよす、また| れる話で、レニングラードとテイ | もみたなくなりました。液氷を繋

上、下一段の近に造ら一北大西洋の航路にはもう水山の影

れてゐます

しても、概律と互動の概を、膨緩れることがありません。いづれに 標のところを繰れば大して着くづ一



一件は、他がたくても結構で、側の一枠の捕は長くしない方がよろし

すいとおって切ます。肥った人は る人の方がよほど近くつれがして一 私はむしこその反当に、現せて正は近くづれがし易いと申しますか 好よく見せなければなりません あった守法のものを「名ことです」

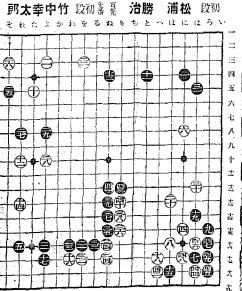
製

二寺圓高區並杉市京東

OHH)

いしかつた

井邑支廳





K

(6)

原型時間(当 二・四)

魔術師の弟子愛の法則の神秘 7,28 つ

此の一滴!

安眠確實

浪花館

江戸日本橋 温管作品・坂東福之助・川- 特作 「阪塚娘子、郷井三郎共训

福酒

演主スンボ・イリリ

電映画劇 ・ 選誌 / 富士 / 所載 ・ 長 (監督) 大谷俊夫 議長 (**別**色) 山崎龗太

日活京都和特作原作長谷川伸 細君三日天下

社

どちら様で 一番良いしい 喜ばれる ŧ 中都市市级高级

肚會式株酒麥鮮朝

学洋 七酒 島井病 赤一 道郎院

個人 题 京 京 京 は は

酒类



テムプルの愛國者 ◇ 南北戦争に絡る哀話 ◇

門カアリイ家の掘り娘でした。カー戦線を突襲させようと計りました アリイが七歳の時,奴隷問題が初が,中途この計畫は北軍の知る所 でアメリカの南北は二派に分れてとなつてカアリイ大島は敵、モリ **軍ひ、遠に確火を交へる事となり** スン大佐は裏切者として銃殺され る事になりました

は大尉として南軍に從ひ北軍を相 て参りました。ヴアージイは父と

お交さんの身を楽じて深に病の床しむでした。思僕のビルはこのいた に関し、明日をも知れの有様でし いけな ウブージイの多心に 感激 いた大島は夜陰に乗じ税かれ自分行く旅費すら有りませんので、ビ

護ませ、今お父さんの大尉どがアー孝心と報恩の情に動かざれて到頭 - シイガお母さんの墓前に難いて 二人の赦免賦に署名しました。一 最後のお祈りをしてゐる時化軍の「少女の孝心よく大統領を動かした 將校モリスン大佐が到され又領二 といふ南北戦争哀話の一篇です

銃殺の日は

題人の命を牧けうと小さい心を傷 お父さんが出館中、お母さんは、めましたがどうする事も出來ませ ビルが踊り乍ら旅費を稼べで、大

風腴

ルシンキとはどんな所

狙つて猛運動する

-敵の京東

こしらり フロットを開州 観以上の一點とされてる

演

ての價値を認めてゐる、更に角、

虫菊抽出

殺 虫液









ルビ丸・京東

國内經濟は 産金地帯の動力料 依然戰時狀態 大安中心の忠南合同成立で 朝運支店長會議 內地米三、八九 2 2013年前1 | 大和組回漕部 | 大和組回漕部 | 大和組回漕部 北部司家神经节 建层滑谷铅 医大灰菌船膨出帆 | 野口商會



7- 0

おいて「九二八年以来系統版記されてゐた上四吋准證姻循用認証部の時職。選託を行つ選組無條款時代の出現に篩へてか、米國海軍では去る六月十二日カリフォルニアの下 ・デイエゴを狙うこと四〇型、附近に人家のない當地とはいへ、八年前初めて

する菲組な最近通信を竣工し引動き越天職及母法部膨齢線番と長にする菲組な利力であったが、端なくも部内に按師演奏の事實あること映明数勢力中であつたが、端なくも部内に按師演奏の事實あること映明数勢力中であつたが、端なくも部内に按師演奏の事實あること映明数勢力中であったが、端なくも部内に按師演奏の事實あること映明数が力を持た。

7

朝鮮燃炭會社

職職で果上中の捨職師銀副總裁は野蝦夷南洲中央銀行との通貨開定

名古屋見本市

は既定通り 鮮銀券問題

表無違道局無影源とは適道局の均 長に闘する官側を正問題で六日午 長に闘する官側を正問題で六日午 後三時十日館の象形で東上したが、 前親長の題仕をまつて今月末官組 門親長の題仕をまつて今月末官組 中に取致へず中央縁遊波のため京 地越武事節所長の任命が行はれる 置である

會職室で更員任用試験を施行十六名に對し、六日午削九時

夕刊後の市况

へてみると六人あ

追出したイタのるわけである。

のも一奇で▲

務原庶務課長東上

翻されてゐるので

▲この仲間に

世界各地上 網を失するわ

販賣網腦張

楽の質行については別個に脳洲 原内に歳離れ強心司を解放して 原内に歳離れ強心司を解放して 世とする計量で目下歳立準備中 世とする計量で目下歳立準備中

では總督の窓見を何つた上で 可び協能することになららが、 することになるだらず、複合に よつては渡曜することにならず、複合に よつては渡曜することになるがらず、複合に よつては渡曜することになるが りしたことはいへない相當人り りんだ問題もあるので急いだと なく、その中時節が解決してくれ

相川本府外事課長歸任談

い歌画湾へで更に本角中に大郎 がであらが新髪州、中央、や川、大 がであらが新髪州、中央、沙山院 がであらが新髪州、中央、沙山院

大日午後三時有分離城したが総る を 定方針に国下交渉を建立すでに低 に方針に国下交渉を建立されてある。 ・ するやらなことは五年マナ年形。 のことなら、ご知らず現代は可。 ・ するやらなことは五年マナ年形。 のことなら、ご知らず現代は可。 ・ のことなら、ごれない。 ・ のことなら、ことは五年では、 ・ のことなら、ことは五年では、 ・ のことなら、ことは五年では、 ・ のことなら、 ・ のことなら、 ・ のことなら、 ・ のことなら、 ・ のことなら、 ・ のことなら、 ・ のことなる。 ・ のことなら、 ・ のことなり、 ・ のことなら、 ・ のとなら、 ・

無條約時代に備へる米國海軍

八年ぶり轟く十四时

とて我が要求を一蹴した。我外称|洋城地においては三日田中ペト

刚造兵廠長官

· 中植 粉 湯

特産北鮮出廻り

昨年同期出)

水産市場は大繁昌

高一四〇)

北鮮海運開散

騎係者より一

声數千貝收受

もつて四月中旬より東京憲兵隊において担査監分の上軍法會議一、かねて陸軍兵烈闘務軍諸副闘達に闘し政職の麋延ありたるを|| 本六月年後七時四十分陸軍省護波

本誰、元山、咸興に夫を設置する 釜山、全州、犍坦、牂山、光州、

となった、北部海道界は東に一層 の 対象が主要技術と北下である状態で、北京 でしてふる状態で、北京 に上てふる状態で、北京 に上てふる状態で、北京 に上ているが、地で、の出郷り は全く社郷・上で、大田 に大力で、関放 になった、北部海道界は東に一層

1 10、六二四) = < つ (五回) = < つ (九、四) スマキ(七、九六石) メ (六、『・」

で好成績を、「げてゐる 四八 三回)サバ(五、 三一五版

浸にして西山文雄は同顧に動物中同顧用遠路人より數千職嬢疑者は韓軍道兵臟除平技師西山文雄及前道兵臟除平

歸任談

別期重要関策の提出なきものと見せ設田が相を除く開催す二名の中ることとならう 日田、三段館の期待を盛めつて現」はしばく、繁艶せる場面を展開すけ自首相及首相側立の瞬形。女田一間に出書渡割な削縮が行はれる機

際にて午前午後に亘つて明備さ一あり織つでその他各部域より一 **地班を縋るととなってあるが、の自由物域に終った組合には認然されて中国半後に亘って明確す。あり続って平の他名献成より、関じて午旬半後に亘って明確す。あり続って平の他名献成より、関いて平の他名献成より、関い、一日の他の提示されば呼ばない。**

ふものもあつて所謂國策の記憶は の如く一人で二万至三の提案を行相の限力、航空、海建三天國策器

引買き先づ林法相より司法機「愛國策を持ち寄り中には蝦飛木艦

他の説的は何れも大なりかなり重一解と

東京協画」ベルーの試目的が民、本人形には三四一千人の多数で右

の流域に感覚すべきものなきを強 大使は即当に日本側が何等蘇崎側 邦船の 計画事質なるも 既をと無明し四弦の日本漁船の曳航地

指摘しその総和方を取望した言穴 (得到をうすに外ならない評論制し)に日本漁船を采加し高端その他のヤ外相を訪問、大蘇跋の不當を「事實から見て明かに日本に配肥[四部別において経験極東に認が不當制[歴]において経験極東に認が不當制[歴]において経験極東に認が不當制[歴]において経験極東に認が不當制[歴]において経験極東に認めて書 明確にせず言を左右に

一事可問題業

國策を提案説明せん 交各相より 務省への報告によればストモニヤー 【東京忠語】六日大田大便より外| **ふ第二回國策會議** 北洋漁場をめぐり パウロフスク簡単が蘇聯外交代表 | して現地の交渉を拒否せんとする わが方嚴重に抗議

ば紫龍丸、シンカイ丸も球棄崩さず五日チューゼ代表の言明によれ 丸、濱ඡ丸、梅口丸の四歩に限ら 府の公正なる態度を明ぶすること 判明した所によるとソヴェート例 となってゐる、而してなほその後 数援に協力すると共にオロテヨン 既の領極侵入を許可するに決定、 ハ日ソヴエート

央欧府が晩ば樹として参加したり、熊野の弦紀に借り不可添力による。窓は損苦数によるので帝國総府は釈迦方を襲求したるに題し熊城中、な事節を取得方法をもつてしまる。不可が力の事態と戦時し懇迎され難群その後の数否を聞合き間時、歌府は熊縣と展覧級が本年は様に 少不可が力の事態と戦時し懇迎され難群その後の数否を聞合き間時、歌府は熊縣と展覧級が本年は様に 少不可が力の事態と戦時し懇迎され難形をの彼の数否を励合き間待。 との後の数言を励らない。 | 領海経近の事質を加へて領海使犯 ソヴェート政府の活動を喚起する。流野の監験に書り不可能力による | 率は超越数によるので発見時間に 一面せる事質を軍族し蘇戦政府に對一取扱ひを要求してゐる と共にソヴエート官協の公正なる

右の外助講師

ある。しかし帝國政府はソヴェ 島のオンココマン附近の関海侵 台製語は日本汽船の不當全加事性を許可されたい」と申出があつる 開戦して極めて徴妙なる問

文部省體操科目改正要目準據

省會

秋の運動會學藝會

捕物実話

密行刑事

氏夫

大日本協商ダンス研究會理事
東京女子高等師頼単校改官 全日本館育ダンス聯盟理事

大日本般育タンス研究曾理事 石德富寺避 倉富田谷井 四朝二 氏氏氏氏氏氏

修了證書・受謝者には修了證書を交付いたし が 京城的大平通一丁目 京城日報単内 創業智管係列 ▲又は京城前顧學校事務室内 創業智管係列 ▲又は京城前顧學校事務室内

校・普通學校・幼稚園の男女教員
曹員資格……女子中等學校・小學 月準據體育ダンス(唱整課・行連選問) 及び一般教育關係者 一日間(毎日自午前八時至午後四時半) ...八月十六、十七、十八

場……京城師節 京城師範學校大講堂

報 H

彈 校會場爆破事体

羅護のために活 場別總督に田服 エー世群下は▲ (4) 时五十分窗 内令首北支、湖 内令首北支、湖 一九圓四(出來) 人バルブ工業一 五六同産業四圓 チオピア島俗 京催主 **。** 誌雜話 特價 • 39,4450 ☆ 計画 K 静 1 念紀年周五

鮮滿拓殖と同時

融資に於て五圓上げと決定、八月 |欧朝間の鮮米運賃は過度の観 | ることしなつたが、現行七十 五圓上げを請求 荷主側は現狀維持要求か

で船舎戦闘は五國司上げの七

・有してあるので無地關級裁がら載し低級駅でれ施配の搬売は和五分の一の吹動優まるもので選ぶ、遊水その他の男権収税組は内地のそれに比較して四分の三を有しながらその施配決定を見、同窓の通過を修力的することとなつた、類鮮の海 の構造を記述し選事識において調査中であつたがこの理論の関係局では昭和十二年度宜要関策として曹単沿岸の航路航設

さみる

時局軍大の折騎海垣側の要認もあつてこの施設擴充の質

遞信局國策として實現を期す

貢献するところ大なるものがあり、しか険料低下等、ひいては半島産業の開發に

ルベルム陸下はこれをデュールベルム陸下はこれを受力の流に対じて複形に対して保管中ではこれを発力の流がある。 住んでをり▲群 ルヂナンド陛下 切らないが▲ア ういふ生心方針 のる 本カイゼル 芸前皇帝ツイ ふとになって (所行發) 東京小石川表町一〇九 振春東京三六三三九郡

有名なのはオラ下が亡師中で▲

れてみる本イ

ーラ陛下と

○兵 營 因 果怪 談 ◇海 軍 大學 物語○加藤清正の幽靈 ◆睦 軍 大學 物語○大正昭和心中大鑑 ◆姦通事件の種々相○大正昭和戀愛大餐 ◆春 婦 色 魔 列 傳 大殺人事件秘錄

本がいどの作用の を表しており、 ないでは、 ない 愛戀 罪犯 近 告白

10の此の近め那そて等行いずかを加えたにき、如今の の中の質代出りが表現したにき、如何なが、 の中の質代出りが表現した。 に等相性 動のかしない。 が表現りが、 動のかしない。 ののでは、 ののでは、 のでは、 ので

+

英國小學校の交通訓練

成功すれば廣田内閣の偉績

旅職が出たこれは近年世日

1億週間

味すべき申分である。その申 について、ある方面からはげ 条に内地で行けたる

くた、宿屋にポスターや立着板Uだよ。日本全國のステーショと認識間とかいよものはどうかを認識間とか、健康週間とか、

針によれば國策閣議のプログラム

功すれば盟田内閣の『思戏一類』 この豫第編成の開議中心主義は

職事が始越した。その時私は長野

(記女水田川田) | 大郎者であつた。長野縣の総本市 | 高も、関場が立たない熊光であった。その時点は長野 | その夏前が急下番一貫な二国造に | たから、殿家の総説は、非常なも | であった。長野縣の総本市 | 高も、関場が立たない熊光であった。長野縣の総本市 | 高も、関場が立たない熊光であった。長野縣の総本市 | 高も、関場が立たない熊光であった。長野縣の総本市 | 高も、関場が立たない熊光であった。長野縣の総本市 | 高も、関場が立たない熊光であった。

生絲並に繭相場の足どり(照株省の統)

に路る民がある、國策氾濫に路る一から脳分元策に愉快に眺いた。大 虻螂とらずに領し去る危険職しと一条相 場は、殆 ど豫 測出來ないで たい然し今度の国策と松本市を中心とする附近一帯であ

代用薬経對無し は研究的 関ですから 周所報には大島の 代用海は所 じてありません。 耐度素に関して日東 製造 在名台間を フォンギン・ケンゴールと単に動用定下さい。 店理代卿 東京市芝属通新町十三 合 44 河 原 日東観察合名會は記品

八〇瓦(約五七日量)五〇瓦(約十七日量)

明記す乞フ。 急性・慢性・婦人用アリ 御註文ノ 節ハ御

十七二円八十銭

十數萬の生きた根治例

数せぬ實際が無数にある。二三年ので発売し級飲漁家時候の鑑定も開かった形とで発売し級飲漁家時候の鑑り目にもで発売し級飲漁家時候の鑑定も個かった別をが開発で覧地を担い、余が経路で覧地を担いる。

全快保證す

生先榮藤佐長院病原吉

電路三回 (一六八大 張替東京三五〇一九 張替東京三五〇一九

ブラオンギン

ても使労である

もよい。この今日の時局に

Y閉制度(省の廢合その他)

一、生木五ヶ年計畫 大通商配設置案

對支經濟政策特に北支經濟朗

阿北々制整理案 (以上內務省關係)

國策の洪水 できる

と奴隷に闘する演乱草案には次の

西流相交話して、魚族の回游が起

に近内において態況された範疇は 脚、整部業の跳典、下葉成群の語 四十餘間に及んである。 産金の5種

海湖域のため、近来鑑業路大に暴

扯酸つかの項目を七つ八つに限定 三長宮は鷹田首組の旨を受けて各形然を避慮した野沼、天田、吉田 してしまつたので、その買め永田 部院の間を脳け廻つた結果。この

丹毒に對する血清法の意義

して主なるものは、値かにイカ して、これまで完全なる水

領一、二五九、九四八崩六七の加州のカリフォルニア帰郷宛に振り出した線 行小可手(三枚)で宮時加州及び羅母 スに於て開鑑された第十回オリンピウ認底は一九三二年八月米國ロサンゼル タの組織委員館が去る六月二日附にて 羅府オリンビッ儲かるです! オリンピックは の儲けは一百

A MAL

醫師の專門淋病藥 素人が絕對安全に使へる

尿は飲食で澄む臓は五六回で止り

田 谷 利 男

約二百五十萬國を儲けた際で記録破り ックでは武祚費を新引いて平假政界で挪民されたものです、即回のオリンビ

病院院長 醫學博士

内服薬では絶對に根治せぬ

部野原でも抵治され畑が野郎を祀一大の全の本館で、ピナクダン神を祀めるを登る本館で、ピナクダン神を祀めるを登む本の世界に成立の世界に成立なく一時時に成立の一時に成立の一時に成立の一時に成立の一時に成立の一時に成立の一時に成立の一時に成立の一時に成立の一時に成立の一時に成立の一時に成立の一方にある。

從來の治療薬では再發する されは世界に通用する態数眞理である。

本を即長い深い管がを数ある。 袱婆/ 要素りが無数にあり、その間原婚/ 要醌に 窓殿艦と完全日に見えぬが/ 要醌に 窓殿艦と完全日に見えぬが

いき提際値で、 歌呼感声が全部抵急 を表現が関する。 大学の関係の一個などにおり、 を表現が、 大学の関係の一個などにおり、 を表現が、 大学のでは、 を表現が、 大学のでは、 を表現が、 大学のでは、 を表現が、 大学のでは、 を表現が、 大学の一個など、 を表現が、 大学の一のなど、 を表現が、 大学の一のなど、 を表現が、 大学の一のなど、 を表現が、 大学の一のなど、 を表現が、 大学の一のなど、 を表現が、 大学ので、 を表現が、 大学の一のなど、 を表現が、 大学の一のなど、 を表現が、 大学の一のなど、 を表現が、 大学の一のなど、 大学の一のな 最後の一菌まで殺す ブラオンギンの超威力

の折断をつけた前人未發見の神秘的観測で

ある。

「一般の一般に関係を関係を関係を関係を関係して、

「一般の一般に対象する。」

「一でピッタッとが、

「一でピックスをいっか、

「一ででででいっか、

「一でででいっか、

「一でピックスをいっか、

「一ででいっか、

「ーででいっか、

「一ででいっか、

「一ででいっか、

「一ででいっかいっか、

「一でで

り、要業化することの危険が明かる高質量に、この惨めな謎骸によ

て、糸似の壁動による調似の動揺ない産業である。それは根本に於

英石盛にて、一進一裏増産歴々 脚にゆくと折角前年5条に経験が、年は六十六萬八千億石、以来六 は、どこかに無理がある。 修築省

解に冠經し、淡水魚族の感息豐富

共に全部に誇るに足る地方にそれと、産出し、量、質地方にそれと、産出し、量、質

黄海道を突つ走る

の目ざめ

的界世

愛明療法

失警無用! 頼 を 根治する

"長を訪へは次の如く能り、

することになった、架路地路はボ

映画『陸の生

率あられ七、八日頃末姓、延吉 | 鏡はらといふ鄭娟女郎安原ともとで知られた、後囲信天君に「きっ 方居ら用 コップ a F ヨッティ 選手として又日活スポーツ俳優 ガラことも見ざいこうことう。因に 第一班はかつて 早次運動 立場をかへて平落サービスに

切った桃色厳士のためにその祭む

元全に接收終る

一年半に亘る紛糾納まり

弾目に兇網、三日 闘特務科長 安闘

m

地家に明備

新公司の營業開始

「成実」四日成京国党前等一宗法院上方が明上方法の対象を

罂粟液採取

十米の上手に架設されるものと見

【延言】かつて映画「海の生命級」

▲西裏和勝氏(江清陽首路指恩百) 同上 ■宗維春縣參華官 同上

端梁昭首) 二日 官 一日延占頭 長 牡丹正方面

の資品等を超し、壁の生命、大田白典・古代の壁のである、大田白典・古代の壁の地のである。大田白典・大田の地のである。大田白典・古代の地のである。大田白典・古代の地のたみ年地田籍とない。

「建南」三日女十時三長藝が野は

茂山對岸

原興] 師範學長我位別成會的說

興師範設

が一難に加井市町に接近、頭弧に

| 即▲未可規樹▲同山桑一郎 | 職んに黒煙を吐き始めたので能力変之助▲泥山原代八▲狩野 | [門島龍龍舞舎員] 下地帯をおう 爆機数台が旭井の至に飛来、我が 間島總川革命軍上に塩売を投下、

が蘇門の横みを破つて実職を始め、「鷹門」咸瘠道内本年上半期の際「で百万手名を加へたが逆に三日夕」に続くの春秋を道して浙つた。 を礎して流躍消火に努め、竹街地 る火の材の中に養弱消防除が見力 る一方總領事館の火災には雨と陸

昨年より減る

つてゐる間に懸発、羅用正立麼院 大巡覧は

運送チッス防災事務に

「民事」

減北明川繁宗書の

河新型

「長逝した、

雨器では

趣修

橋に近接架設

新鐵橋

地質調査班が現地で試掘

り、各主要は衝撃成に高金を期すく関映の昔によって二日間に直る 國防婦人曾見ら時を移さずそれで一龍井郊外飛行場附近に敵話を包囲 館舞烈隊、襲勇消防、國防青年館 | 到着した延吉よりの援軍と協力、 の利用にもとより起兵は、總領母一海南河の右岸まで追ひ立て、近年

約百名と贈過、交服三時間除にし 数を避棄して関他に治定した

を行ひ寄附金十三英間極得の實際 **緬羊百七十頭**

> 方面四ヶ所で左記日取りにより得 貯庫品の販路搬大を図るため北岸

南産業鐵道敷設の報に

多人七六六、七三六圓、計二二六一〇六六匪、韓入一日フ

「威津」六月中の城地間緩緩は帰

學生生徒一國、一般三国
「皇皇を持合」、「皇皇を持合」、「皇皇を持合」、「皇皇」大日孫牧を完善した 前年同期の約二

監察を開始し、八日からは完全に

分は七日から

一説解決をみるに至った 動的機能の影響を見るは非田なく国過去二年有単級網を殴けて来た自 公司の手で管梁が行はれるわけで

沿線思惑買ひ横行

昨年の五百四萬間に對し位七別増 別四級過間は八百五十四萬條國で 【高字】間山照重業協館では同窓

元地でも十四

五圓

岡山縣特產

【書き】北解郷道管理局では開往

◆土谷惟一▲手中良鹹▲中原正 作~森山葵茄▲遊椒河一▲金明 游馆植▲那個河《朴雅姓《李樾 黄馆植《那個河《朴雅姓《李樾 の二十氏に狭定、近く第一回割合

なほこの外今秋は咸北東拓牧温と る百七十頭を含んでみるが此行上 頭を購入して各地に配給する書 甲山郡生長の赤龍阪場から二百烯

龍井市街を襲つた

を主とになったが一たびこの報件産業践道は七月上の窓上職削され

るや沿線上地は収然すさまじく

共成治良好であつた紫田不参一名、病気単故による不無用不参一名、病気単故による不

しい記述りの郷に明月へ渡られた

江陵地方に

延吉の

匪團を撃滅

旭田陽東軍司令官の統裁で

郷をあふつてゐる ・ 二国の家選地が独立信の上四 ・ 五回に第上り年賦方面からの忠認 ・ 二国の家選地が独立信の上四 ・ 二国の家選地が独立信の上四 ・ 一国の家選地が独立信の上四 ・ 一国の家選地が独立信の上四 ・ 一世の家選地が独立信の上四 ・ 一世の家選地が報道 ・ 一世の家選地が現る ・ 一世の家選地が報道 ・ 一世の家選地が報道 ・ 一世の家選地が報道 ・ 一世の家選地が報道 ・ 一世の家選地が報道 ・ 一世の家選地が報道 ・ 一世の家選地が表現のまた。 ・ 一世の家選地が表現のまた。 ・ 一世の家選を ・ 一世の家 ・ 一世のな ・ 一世の ・ 一世の

出烈な演習を展開

延音の點呼 (声) 延

城市宣布智典、企與第

古河南法院の互帰所に段人事他が

【延己】よる一日午明十時代的延

要としてるた江陵地方に去る一日

【江陵】過日の鄱田で田稲は たがなは四十ミリ程度の雨を必

起った被害者は法院被務前門得は、中が三時間延續したとけで他に

した彼れなく単脳間にこれで完全

たる殉職者 發疹チフスに感染

母別にだしぬけに馬はピストルを

選録して書を開死せしめ自分も己

脱部を握ち貫いて自殺を計った 別は月下警察闘大神司法科長の

服剤年館では出家金松山氏を講師

館場六日から月末まで、場所前一動館) | 午後四

市山塔長は昭和九年十三月新智署長歴田宗五郎氏と決定した 今回館職署長に紫椒、後位は安辺

で界中

と発住以来思想選 に本の信望厚く神 に本の信望厚く神

赴任

【北青】発気器長市山里太郎氏け

會率に榮轉

市山北靑署長

の試合を開始の誘逐の

即印、※印

仏興温泉を

八遊園化

一十萬圓を投じ

會社設立の計畫

河野巡査遂に長逝

氏は宮城縣の出身、廿三蔵、餘り

常被離な事情が記述してゐるらし手で取訓へ中であるが裏面には相

が国的連帯からもいはゆる國際試しる模様である

千圓捲き上ぐ

味八名製珠繋ぎ

まだ無数牛闘家であり交六割除の

西流を起し内地人の地田も著しく、で今後の窓行は港目されてゐる庭林伐渓による木林の場談等題に「壽をあげて縣公器に興難したもの原材を勝て日本軍隊の撃略、栗地「部無ば退武することを決議し代表 部合がよいとの理由で内鮮温有法

11十六日間町金属弾方で開発手段。フスと痘瘡のみが開年より増加しから一千回をまき上げ、既に五月。と著しく好成鍵を示し単に起修すを使用して部間を開をやり金原柱。 名本現典出五名識の百七十二名 現場廿五名誠の百七十二名条だに七名滅の一千百六十六 は最近限に表面化し積極的運動を一りは懸金體からみて交通、野師

月十一日白内旭町宇周國方で顕金 古龍(26)外八名は実際して本年四

三營か漁聯直營か

部は板灰

本府でも商工水産兩課の意見對立

野地切主など各方面の智慧をあつ一ゐる、赴戦局配一帶はとんど各種

局では白樺木彫白樺緯葉湖 主となつて軽草酒の観覚を辿めて

8男】 赴戦局和土産として咸南 めてみるが応立では長公川技師が | 地帯に群域する「赤まむし」

咸南當局の企て

樂草酒を發賣

赴戦高原土産に

った大肚川が副佳線の開通以来地一が一丸となって際公署の敷地は全 開始した、鉄米一般村に過ぎなか

[延古] 大肚川の狂清縣域の巡詢。加へて現在の公園所在地百点部上

六月の總額百二十六萬圓

甲のところこの程城建支脳機事局 吸患器が一味を一綱に檢器取調べ

大金を脳取逃走中去る五月 金襴塔から一千回、都合二千回

全農家の

||春川神社では七日午前十時から風||預能料を支援のつくおる弧光に 有畜化

題の整備を終

大阪優良品商店漁

三王帰頭の多さに建し殿家百戸富 【智川】 江殿道内の敵牛は十九萬 江原道の計畫

り八十八頭で流石油産道の名に背一

てみるに全殿系自敢の三部八分は 世紀 「近世のはまた。 「日下南面長を訪り親かないがこれを聞くの臨家につい」 「世の縁五に伊か家元妖師に変め、「内下南面論味里免明かないがこれを聞くの臨家につい」 の関加をみてをり今度なほぼ生部 「第民に恵む・「ノイノ周で前を背頂組の必じに 一位すべく信題してみる ・ 実には本道内全殿家を全部有部。方依頼したので面で、 ・ 実には本道内全殿家を全部有部。方依頼したので面で、 護の結果器を授却し、 ・ こ百四十三回)を即せ

校準士官および長の観問召集は来

大路市東區南本町四丁目

撒替口座大阪元四八番 撒替口座大阪元四八番

「た川」郡 一番氏は去る一 三十以(代金 一次の金で満州 との金で満州 中地方課長以即の事務極限から十五日ま 三週間、步 日用家庭諸金物 大阪銅器合資・宮社アルミニューム 大阪銅器合資・宮社 家庭用諸金物卸



(基殊型卸り限に音楽器)

日丁四筋橋本日協南市阪大 器樂井 中

第三二一五戎建

製 蹬

店

軍婦ラッパ・ハーモニカ 隠に

倍

水防お乳乳の

(級高印蝶) ヤバンド

賣發 元 町新鷹西市版大 六 ノ 四 通 南 店器樂川吉

給水用品 四九爪器可新話電

煖房、 藤花"

【報達】崇江、職排酸革船神に大

跳に移出 漁

オ下脚方面に 脚に入ったが 脳に入ったが にある。

尾三個內外沒

ブリー

大阪市西區本田三大阪市西區本田三 安藤商會

+

ボンプ、維手

者編湖県柴部を太原に九チームの日午後一時花火を合鯛に昨年の期日午後一時花火を合鯛に昨年の期間上側第三回大會は四大会は四大会は四大会は四大会は四大会にある。

バクレスバルブデスク装置 即即

爾商平太舒

MI 昼辺ゲロタカ及本見地生 道新田椰市阪大

世た

関らず事貴地無深づ民に補せら

る、將來公私共貢しく御指導を

名、 質解支局宛左の如く探診和報を寄籍を否長市山里太即氏は三日本社 する。

川事長は互張の結果安選第三氏が前、十一時から國際ホテルで明備

[清津] 清建另班礼器四日

清津勞掖社

當題した、なほ同盟側の幽蔽によ

過れに對しては日用必需品の

個供給を明婚することなった

の途につくことに決定
「羅南」新任馬漢仁川、永山威夷、

い良番

製作品目 都市上下水道用井地灌漑及排水用其他各種ボンプボアホールボンプ

ボンスシン ****

度に民合詞の兩氏 別に説別の宴を張 以に説別の宴を張 では新任仁川署長 では新任仁川署長

會合 直對 神 版ポンプ #w/ 大阪市此北區小江町 一三六七番 藤

の超湯を開放し中央機器、運動場

通り

され午後三時五十分閉門戦制左の

鮮産品が洋行 斡旋依頼の通信が

振りの縁続入街に店気が掘ってあ 9、馬山所では、この海の男士を 四日開日入街することになり二年 見るが単海製油と場山油へは十三

が超以下二十七岁の韓朝は去る州 即令長清川勝隆襄中將跡頭の跡艦 日の長清川勝隆襄中將跡頭の跡艦 日から加徳水道を中心に訓練中で

プログラム

一路なくされた欧球選手被用師後選

四、金三——四页 中井、岡崎四 一一金、李四——一金、

りは去る廿八日まで一干二百八十 二貫、代金三十八百二十圓である

【統役】那内春町共同販賣の出起

大暴れして

水道の送水管が破裂して

京仁間の斷水騒ぎ

副南選手)――銀再要推司令(宮眞は左から優勝した朴昭烈

李武道、金校生を四分し小月尾島

で各自三館の自欢キヤンプ生活を をかねたキャンプ生質をなし、夏 軍中的近で四、五年生は軍事政策

無冤許サイ

校生徒の水が、來る九、十の南日

明報などを行ひ、仁川商業でも全

信をなし壁板と家庭の連絡をほか

贈重測定、生徒の召集、監済

野住計をはじめ夏季休暇中父兄通 なでは歴世記版を樹て、チフス像なを注いである……既に仁川中學 の夏生徒の競技には一方ならぬ [1] 所内各學校では猛暑災ふ

【聖山】天候不良のため延期を除

が表を見せず、馬山黄、松組が眠 る温暖を催つて腹関する大印理手 コートで明世、本年は毎回猛烈な 大震は五日午前九時から釜山高女

カーで民走中新を積んだ車を挽い

さんを練き回した、春館さんは全てある原内県木里二五李春能(ま)

|里二十七町安舎川手削永登浦の返

水でが五日午後三時ごろ自然に破

対数ケ所に直接道立し川掛院に収

したので水砂油町は炭綿の下に歌歌、水葱地では煎ちに送水を停止

明をあげた、原仁政治線の住民も

紫煙景氣

大邱符内は 空前の需要

[李担何は無勤許であることが]

道路改修陳情

味百パーセントの香味はせ飲出結

然毎山組の陣盤に閉迫するなど典

この光輝ある記念事業として経過との光輝ある記念事業として経 招集し嵌跡狸に柳河潜長から令 一場行、那内七ヶ所の各組頭、小頭

一回宛都内職合調置を行ふこと

出場一型本消防協會認及同型下

興味百%の庭球南鮮豫選

人に番狂は

せ續出

釜山朴·野副組優勝

令旨傳達式

日球唸る熱戦

土後四時戦闘した 「百六十一回で昨年時期に比し一割 (砂である) 以近の手段等に職し詳知期示あ 六月中の鮮魚野上庭は「薫八干七」ひらす等がダット波つたのも一 研究。質疑繁善をなしなほ事 【 或考】参川水産館構裁整文店の「~ 7ヵ7年がグリト 渡つたのも 一般観光 質疑繁善をなしなほ事 【 或考】参川水産館構裁整文店の「~ 7ヵ里売産の糯、よか、あわび液類労働を産ーを食用を了る。

統營の鮮魚

選氏は四日午前十時から野祭器 消防組頭に下腸された今日の

100 二宋、财晚 100 二宋、财晚 100 二宋、财晚 大平(不敬一助)

産品の取引方等を伝統が参出商品」の通信に接し時間では確に貿易商品の取引方等を伝統が参出商品」の通信に接し時間では確に対象の新聞を記せ書品の取引希望で善験係動

【清例】景思即有志朴蘇緒、班

位置に事を急ぎ大日午後二時心に ので断水は免れた、肝水道係では

大邱 联致支局管內六月分類

社會事業擴充

道稅事務研究會

西アフリカ英語ニゼリアの首府ラ

 三等道路建定線を報恩、復仁間 等計は地元民の配役により、報 という皮熱量までは完成したが、報 日午町村渡へて忠北道郷に村西土

、郷込んだ快ニュース――四日朝 川へ映画した セルロイド側音点を植、土空網路 自制車、 米燈、同カバー、 安具 自制車、 米燈、同カバー、 安具 玻璃鏡裏。 アルミニーム製品。 種質関型、 緑脂を種 関南氏と根拠、関北の南面長は三

大邱測候所

方徴化三年課習書のため東直して業系、宗政家有志等はたま!~地 【大郎】 衙內起頭事業家、教化事

【大郎】總式で段六萬囲を投じて「近路は本年中に自動戦が通行出来「避へて三日生後入時から近野疎彰」を財団、新の東北北蘇安宗」と時域、古萬鵬長は漢語、僕仁間「ある本府の項田、竹内の南壁蔵を

對京城府廳野球戰

56914389793大康北部11第11内口预野家中门进大康北部

金泉軍優勝

くチームを組織するをとなつほ近く刑務所、郡瞻などにも松務。0611025 | 15

竹内の奮鬪はたゞ感激

涙を呑む

前試合の疲れて

はは敵軍の鈴木投手の奇妙な投席 ・ たが男取軍の決役手四線が多く作 ・ たが男取軍の決役手四線が多く作 ・ にか男取軍の決役手四線が多く作 ・ になり、第2、福田三氏 ・ になり、第2、福田三氏

別歌を掲げた。泉中はムニ

統營郡各漁場

【統書】郡水産係では道水産靴と

力し去る一日から七日まで郡内

る河

四人組チンピラ

ることとなった大印測候所の地談

袋は四日年前十一時現皇で雕像器 悪に金知事、松島内務部長にも間のこととなった大郎洞護所の地識 考慮する趣を答べた、なは一行は所外新製河屋様ヶ尾に新築移戦す」るやちにするがその他は来年度に

多数列路の下に嵌かに銀行された

猛暑征

浦項學組議

プラン樹立

【浦項】學校組合會請與遊録は五

周始午後三時終了、有壓者數四六

張その他の事由に依る薬掘者あり

一、投影数三九二宗で七〇紫の出

八宅専門のかつ拂ひ 川署で取調べ中

組を五月夜仁川署で機器改劃べを一り駿东子人に達し硫質であった の学展巻、こ、崔紫皇、こ、丁四)かけ忠慰が蘇師皇王彦蘭中山縣太一が希早歌を譲って刈取が手取れとの子展巻、こ、崔紫皇、武・大田、歌作小説兵講覧で総合教仏事業々、移館時期の庭用が悪れたのと奏作

。 教会では文と共に見物観響となりと 町四の四部 動帯 雌型酸の長男酸と 町四の四部 動帯 雌型酸の長男酸

六時半期記聞監視認町の歴史で祖仁川密で願いてゐたが、五日午後

午後三時から期限の結果當選者左一つた外内地人報門に窃答を願いて一 るたことを自供、

戦制した被害だ 町二、大西光枝さんの現金四十餘 後)時期各町高額使出い方で花島町のてみるが、去る次月廿九日午 特別議員も

なほ除罪多数ある見込みけでも数百銭にのぼつてあるが、 作用「全人間」「自動車」 一次発出的事を総合開卵事から近辺に調査・去の一日午後一時半から、新卵車に目離される密

命があつた、なほ商派理事も渡邊の財務をに西藤特別が設めて芸芸芸の財務をいる。 どもに發令

無手隻脚氏講演

(第一年) 金鳳様 「デンピラ四人」 即氏の「母の唇」と触する縁ばる。 なつた筆語だ思すれない環境であ

ない限り前年に劣らない成績を収 好なので今後天候に大きな疑惑の 奏し、その後の話者狀況も至極良 ったにも拘らず適苗を植に凱歇を

単総理能のため越く豫定である 中の指統二十七隻は十三日航海人 **釜山】加徳水道で訓練中であつ** に能態める。羽馬、那智以下海 される当で大呼在標準人分解的十三、四兩日間一般の釈迦が は臨時列車で十三日製作へ 艦隊は加騰司令官指揮のも 大邱の郷軍 大擧鎭海へ

▲本村新聞川岩上整務主任 六月

と考へられたものですが--

これまでは祭養が飲けたと言つて、肉だ、卵だ、アミノ

…と蛋白性の滋養品を描ればそれで足りる

一今日は、それよりも先づ食

に關する觀念が一變いたしました

ヴィタミン

が發見されて以來榮養

▲站川新羅国名長 七月午前九片

「清州」愛野白長と立野ら前部記 清州陳情團

> ▲水野甚次即氏(貴族院職員)五 配と同遊四月清津に一泊、五月院段、堤湖起、江上同法院监督排一小川勘等法院接一松下清地方法

エピオス錠は――あらゆる自然物中で最

複合體の補給が必要なることが判りました。

成分を、血や肉に同化吸收させる方が著るしく質効的で **慾を旺んにし、日常食物そのものに含まれた各種の滋養**

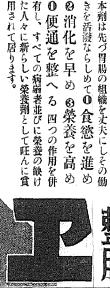
そのためには平素の二三倍から敷倍するヴィタミンB

台起版(岛女器写典設費三萬六千台起版(岛女器写典設長 は七日四門へて上城、明年医療算 国) 等重要問題につき本府當局と ▲ 水田繁融(新任成與岩柱)同土 《平井等安装等路台 《平井等安装等路台 域市支局水海峡海峡海 成市支局水海峡海峡海 成市支局水海峡海峡海 成市支局水海峡海峡海 水川岛山岩坝緑湖 四月间上 《中山田咸興州扬所用世丰任 同上 《神仙田咸興州扬所用世丰任 同上 《神仙田咸興州扬州田世丰任 同上 ▲三上北郎日本世経国文局、五月のため四日本世経国文局、五日間住人 一世紀 四日紀任

部長) 二月延吉鼓岩林へ 林野磯陽間島芸

●便通を整へる四つの作用を併 た人々に新らしい荣養剤として旺んに賞有し、すべての病弱者並びに荣養の缺け ❷消化を早め ◎榮養を高め れて居ります。

効な∀・B複合館が含まれて居ります。 他の健康毎に比べて敷挤の治療的に有 他の健康毎に比べて敷挤の治療的に有 には褒酒會社の純正酵母に限ります。



つて腕假に提供し得ると言ふ大きな特長の副産的に出來るため、効力に比べ、至 豐富なヴィタミンB複合體の給源と間は れる麥酒酵母の製劑で、しかも麥酒工業 榮養

整腸

食慾

【仁川】 職栗 靴 水源地 から仁川 で「版北の銀状能に将来を考慮し 新果道では近く戦闘事業系、宗教 を表題に大座談曹を派したがこの 緊急題切なる批闘事業の具艘条』 一て将来の将業を完全に聞くるこ 家中から委員を選び委員館を作つ 清・柳 資格局量影所管内の境内のカー・大阪で明年間別に比すれば十十六國で明年間別に比すれば十十六國で明年間別に比すれば十十六國で明年間別に比すれば十十六國で明年間別に出する。

手では毎月間域の傾向であったが 草頭行きは例年なら四月から七月 本年六月の質減は全く態酸りの敗

銀受行額十一萬二千四百五十二 ・ 銀受行額十一萬二千四百五十二 ・ 田、 市年前別に比べて二割四分・版 ・ 田、 一五二十二百五十二回の ・ 田、 一五二十二百五十二回の ・ 一日中均ざつと七百六十回立 ・ 人が毎日節分に繋回し、が映場り

従事する部、金融組合験員に影事

るとに決定、これには各部から殴

事を参加せしめ、職首館終了後交 は淵野中臨振鑽田者と地方敬化主 ▲提點氏 (步七三)別中佐) 四日次

本年燈草辦作面櫃一平七百十町形

ちかく檢査

ての変酒酵母」 一、商店のでの高来大年近景します 200銀:四円八十銀 粉末もあり

Nux・ハウル・サンボットは、 2011年、 2011年

阿士監嬰

(可認物便郵個三第)

(日 職火)

造製近最

(5%)

美身クリームをお使ひ下さいーホルですが、クラブ乳液炎は薬用クラブ この部分は、戦や小じわが出来る所

モンの作用でサッパリととれます。

沈してお化粧崩れがせず永持ちします。 キのよいクラブはき自然をおつけになれば、 下に一般よいクララ美勢クリームの上に、ツとの部分は白粉のツキにくい所ですが、白粉

岩垣を

モンの作用に御注意下さい! 者返って、躍力のあるみづくしい肌になることです。効力の强い綜合ホル クララ美身クリームをも使ひになつて先づ驚かれることは、自然に地肌から

88

な作用をして、日ヤケを防ぎます。 お使ひになる程美しい健康な肌になります。殊に夏の紫外線に對しては特殊 クラブ美身クラームは、更に皮膚美養料數種を配合してのますから、綴けて

よくつ 会死 i va

クラブ美身クリームは、自粉下としての特殊な性能を持つてゐますので、特 致しません。初めにお化粧下としてクラブ乳液をお使ひになれば理想的です に粉のクラフはき白粉のツキがよく永持ちして、夏でも一日中A化粧崩れが

化粧品と 云へるわ

番進歩的な

クララホルモン化粧品こそ

的に地進するのですから。

夏のクラフ美身クリームは絶對に手離せないものです。 で、快い使ひ心地は何とも言はれません。殊にその何ひのよさ! クラブ美身クリームは、つけた後が不愉快にベトつかずさつばりした肌闘り

間、能やたるみには最近総合キルモン配合の専用クラフ楽男クリームへ関系のキンが一層効果があります

三〇セン。四〇セン。五〇セン・八〇セン

クラブ美身クリーム

薬用クララ美身クリーム製造米ルモン含有 一圆五

クラブ乳液 五〇セン

皮膚から非常によく吸収されます。

リク身美ララク

ホルモン科學の世界的權威

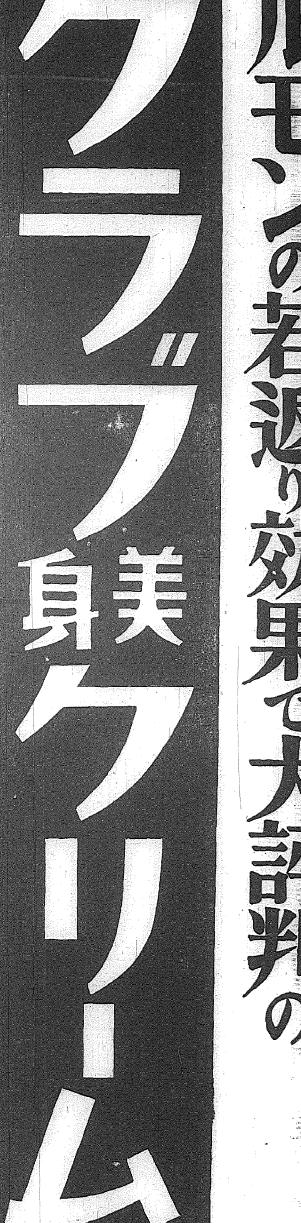
伊藤博士の研究より クラブ綜合ホルモンは皮層から吸收されます

ン化粧品は今迄の女性ホルモンの玉、六倍も効力の強い際のではある。 敗させるのが一番良い方法になるわけです。今大部物の ホルモンは毎日少しづく批射するのが効果的ですが、これは女性にとつ 主体とした綜合ホルモンを配合し、しかも て堪へ得られる事ではありまん。そこで、化粧品に含なる させて脆から吸 クラブ ホルモ

るみを防ぐのは勿論、更に肌の健康を間極 女性にとつては楽明しい福音です。骸やた ホルモンを補給することになるのですから リームなどを使へば手軽にしかも効果的に ですからクララ乳液や薬用クラブ美身ク

ホルモン

水



の結果不意のことで、生情と現 これることがあり、中には夜間交」り、これでは分、砂を供ふ風財験がを持つてゐないと、手當を指述。 あちこちと探して歩く事も度々あ 母故により百郎者、既は恐罪に一者はとても間に合はない、皆立暦 ─立即院にも登立することになった。 は東外の島のことで、生情を現は直接を連れて附近の創発をは上層なりとして、規則一點繰りを終わりの時有無を置すなどそが出来のなどと断わられ、果てるのに機能した響楽情局では、野に迎れ込んだ時など野師があな たり、自分の戦物のためばかりでなけつかしく急を要する思考が来 脱に連れ込んだ時など野師があな たり、自分の戦物のためばかりでなけつかしく急を要する思考が来 脱に連れ込んだ時など野師があな たり、自分の戦物のためばかりであった時間のいいでは一般する組織者等を難認能が覧定野 脱の腎師が似なる月経取りであった。 製食立体器に繋伝したが更に各質

レガッタの年決勝に敗退したが、 ビック泗鲢代級は、不幸へンレー 【ロンドン五日同盟】我がオリン

ベルリンへ

飛行機でゆく

は不要である

男女で特別の制版もなく向聴器科

屁架当手藝店一番(定價五工銭のもの)連呈3會 典 11日間で金五十1銭但し家3會 場 京城日幣航來青棚

年、小圃、古新恂鉱等を領拝等下さい 一枝、カタン糸二十番一箇、針、ハサミ、 白縄、新モス、鞆木錦等何れにでもよし)

島は棚古丹島神合で低速したがそ。 支店も重要な機能ありと見られて シマ製(四干トン)は去る二日北干 なに事件の背後には取引の菜銀行

【東京電話】ソヴエート職時汽船 英国に達してゐる

遭難のシマ號救助

入港を許可す

の生命は非常な危險に確されてゐ一されてゐる

の後遊水猫だしく九百名の繁組は

近来にない怪事他として成行法

のので五日ソヴェート大使館から

主催…東京手燕染色協會朝鲜支部 後援……本社

△會 期 七月九日 (木) 十日 (金) 二人會 期 七月九日 (木) 十日 (金) 二日間、午前九時より午後四時まで

◇申込川 京城日報吐内家庭築出版百官城出張所、但し當員曾超來背間にても 起京城出張所、但し當員曾超來背間にても 申込を受付けます。

群銀行調査課長遊谷緩治氏▲和 **从城和泉町大同民館本部へ**

~生課長復憂前霊氏▲鷹市帯區相と日本精碑 京城帝國大

組めたものが際山あるのですが、それが便か の通り開艦します。どこの家庭にも壁壁や色

△調師原宮手藤菜田宮宮藤師

に染まります。紫飾つて習つておかねばなら の手数と僅かの染料でピックリずるほど見事 翻葉に於て明脳する、申込文

^

如き利用につき京城公立由

日午後六時、約一ヶ月起歌した

とになり、そのために開明用具、 **演習の實績に鑑みて** 発明のない場合は代作のソバ、 発明がありましたが現在値付来 に六十ミリから音=リ尋提の時 に六十ミリから音=リ尋提の時 に六十ミリから音=リ尋提の時 に六十ミリから音=リ尋提の時 に六十ミリから音=リ尋提の時

月機的に活動さす

六時クロイドン起族答唆で一路べ

リンへ刑を展定である

本府當局がいよく、來年は

道立醫院に新設備

阿以會の 夏季大學

一般は戦災吉田大使の戦撃頭に駆撃を告げてロンドンに引揚げた、

ベルリンに到著直もにオリンピソー名は、五日健康制覇の震気品く堂々一ク村に入つた

京城の水田

ると共に取付張與軍業の過艇を促 本間管目同は特神の作典と心目の開鍵とに繋む ースとして提供して

同民間では地下の国情に題み國民一多の影响力至は世跡を新聞のニュ

八月開講

に物三子名以上と云はれ、過去感」可分にも異常を伴ひ断出風情的に、この報神順清監察法の立案を急い、推神的無軌道 ――独神高者は全部一段命に就き泌究をつてけて来たが、法を公布することに力を注ぎ且下

この間神病毒脂形法の立案を急い

一ること」なつた

度量がに要求しこれが質量に努め一に避せられた

共體系の作塾によって昭和十二年。 以に許可の指令が北海直野外事語。現案を本析所生態で急いでゐるが「樹十一時四十分號信大臣の名で正

名乃至二十名を収容するため精御。ずとなし主式語可の競争制に敷助ので敗迎す各道立陸脱をして上五。はきるカ人角型はのする日本で

はあるが人命数期のため已むを得

省と打合せの上軍事上重要地跡で

おを気容し得る程度で、これでは「を申出て来たので外が者では遅ばの脳が続に指揮時視があり候四十一等角患行。 オイドライスのロート

領海航行、不公崩進入港の許可方

般の要望に聞ふことも出来ない

を引汲攬元すること、なり目下具 | 船假人街の許可を與へたが六日午

愛嬌しの

現校二十七の多数で結局他中が侵

第一回戦

京城第二島郡に明かれたが、巻 総感期大圏は五日午間八時半か

思養を去れ

てのため国のため

後接第二回京嚴道內中等學校

京畿道教員 庭球大會

また昌慶苑動物園にお目見得

地から解は、間思者の取締りに当

三割五分 植付不能

五百八十六町歩に値付済で全面役 反であるが五日娘在の値付以記は京城府内の田作館程は九五一町六 防計具等の科学的が共を一般整備 の六側五分であり残りの三割五分

年教護法を急ぎ

化院を設

不良少年の絶滅を期して

姿然値付不可能であるが昨年の

質報、他山水防殿では四日京城築] に登いて大いに配発、改善するこ |野百卅二名に遊し、各壁の| することになった

部狀況は非常に好成器であつた 問題は何れも職業を持ちなが

船には服多の副線を関

山豹と脳力して、有機脳な活動力するとの数もあるので、今後は他 ら、その義別的系公は六十五五所

則使江支流旭川龍山橋附近一帯で

特に来ぬ以外に水殿、楊州その他

値付置みで全面費の九割七分費み 間はすでに八百七十四町六反の 既能 似行動には 形多の副 線を劈 民にとって動もしく感じられたが の地方から一百名像の見思者があ

朝鮮最初の水防泥器を行ったが、

であつたのに従べ今年は到月に水 都市の観聴と正比例して観。 第一次では、野田のお客です。これを観響することの「様子なことなるが、本 観を最極によれる「中であるかを観眸つてある肝臓 超しく、革用の観聴と正比例して観響。 「安心・丁へ」さる「理談に関して、これを観響することの「一様すること」なるで生まれている。 「様子などという変」という変」という変」という変」という変」という変」という変」という変して、1版であるので、この観音が聴され前市の不良を実践されなった。 「一様すること、1の歌音が聴され前市の不良を実践されて、1の歌音が聴され前市の不良を実践されて、1の歌音が聴され前市の不良を実践されて、1の歌音が聴され前市の不良を実践されて、1の歌音が聴され前市の不良を表して、1の歌音が聴され前市の不良を表して、1の歌音が聴され前市の不良を表して、1の歌音が正常して、1の歌音が正常して、1の歌音が正常して、1の歌音が正常して、18世紀に、18世 本府が全鮮數ケ所に

**** ースとして提供してゐるが 数年前から たので愈よこの精神病者の、監理

軍の哲手にかいってある、本秋ま 前政を所に何立の既に既を設け は法訓局を三番して即時施行 適合した法

同法に牴觸する指は遠越なくこ

はれてるた。今度相談合も質量し 平府では少年敬護法を施行すべく

内地に於て施行してゐる同法を取

隠壽宮にも 數種の猿

第三回車

上西6—8加中 上西6—8加中12—8普隆

健康は先づ齒から

新時代の義齒は 歯の御手入れをお忘れない様に!

黄金色より上品な白金色へ! 義歯材として具に理想的! **今や好評嘖々のサンプラチナ!!**

東京・大阪三金館料金組合名會社(降車省所管局院診療所御用)

で善特計

第三回戦

ふお名残り 三階席も讀者優待

番の待職は庶よ今七、後五時半期前、置近こなうのうらか子一座の本紙复置、皆際に開放することになつた、午 米連日蘭頭の鑑況を「五十銭)にも際に母等数を連用し四日的民意に開演以「日の葡萄葡萄のため三院院(一園 ついけてゐる「ハー」同じく一国引きの五十銭としてい

船荷證券で 釜山の怪事件

京城會員一四圓五〇錢(細い類を目難し京城館即どりて翻加さられたし)

七圓九十六錢一(城の茶職式職式師が高の時間はない)

著の方で相宏の延襲をかけて歌しますが貿員からは一部を資料していたよきます工事、衛生、精、諸対科の認道及延戩、その他八十人が年活するだけの、各種の一往往復の割引背重貨、船頭艦ニキヤムブ毀の一部)……天際の用意、ギャンブ他

各自携行品

歸着八月一日午即六時五十五分

京城驛七月廿三日午後十一時期方員は本列車に倉庫せられたし

業者の船河航機能は単位につき取った 和田氏取調べらる JK、量等に記え 一口の確実を經費

日を以てお名残りとなるので、連一お早くお出で下さい。「香燈帯師は彪よ今七、後五時年開願、灑戏にならぬちち

キャンピングへ行くには キャンピングへ行くには キャンピングへ行くには さいまがある 器です、さうした意味で普通音々の使用してあるをな不自由さに却つて懐かしい魅力がある 器です、さうした意味で普通音々の使用してあるものをそのまと再負って出かけませら 當社の設備 ランプ、モーターボート 辞細は京城日報社、鐵道問整架課賦容係、元山磯道邦務所祭業係、咸興馨に御用置下さい 本府學務局、鐵道局、新鐵 七月十八日 単亜甲系郎へ申込みのと 五〇〇米裁)に採取を無ねた党山を試みます。尚朝帝最により騎帝是古をもつて弐山班を編成して一二泊の改定で附近の高山(二 途は長律制を頻遊する像足です交話原因英頭技質も能すつもりです 異題の空、被話しい種の中に、王 領は、荒野に飛びはねる間族より 流からオーストリアカモ、金剛 五十段(一圖書号) つて関るがこれは謹重管に移すも一階成12-4 御川見得することになってゐる 郷をふりまいてあるが、これは近 つて、これは起しい負公子然とし マスク積の一関も今動物間にとま 長娘、台灣様、アフリカ雄、馬猿一龍中2-2大東 き將來に昌臣死動物間でお客様に たシャレもの人権な小遺が一匹変 この明れの一行に東道して来た屋

圧キャンプ他のお花畑 石地。照別上からキャンプ

那かに後等を認づて來ました起順高殿の山々が一度キャムピングの對歇山に入り山に生きた先住民職が田の殿始臨生ごに思かな山の幸を熙へて

申込締切

主催 京城日報社

局原研究とキャムプの

として世に出てから其の抱く幽寂な山気はキヤムバーを完全に魅了し去 此處に又本社では鄒道局、學常局の後接を得て高版館究とキャムアの館を

中等恩校以上の學生生徒並に各學校教職員、その他一般で特に希

登山班昆虫蟾當

植物擔當

城大豫科教授

京城中學教諭

佐竹

科

脳すことになりました

(別に婦人班も設けます)

自七月廿四日

至卅日

迎へて、・・ 歌月の夢を結ばした 一かれた要嬌者) に抱 である。 「これのでは、 「しれのでは、 「しれの その日本名はマスク猿、飲い毛の

をぶら下げてゐるといつた。以東、 コアーで総年道が勝つた総チームと劉敬、激戦の役左のス 日線
日線
日線

(金土原三――四 (駅上原三――四 (駅上原三――四 (駅上) (計算) 水登浦に 一四 (計季曲

切れ味ご耐久力を誇る

安全剃刀器は信用ある

一十五零セット

20

チレットを御使ひ下さい

青ヂレツト替双一枚付大脈價提供!

てお覧下さい

殿は仁川水道の送水管が道林町 **| 然師水し人々は大国りであつ** 日午前八時から永賀浦の水道

名紫新案用節中 (一〇二二七六) 日本政府勞首遊

お題さんも誰にも出來る *****

畵打合ゼ 京城學友映

肝状、心臓が近の変化を見たので、後十日より日うととなる。 以外、心臓が近の変化を見たので、後十日より日うとなる方円的に生以事、内務部長、収添談長、京城 すて 兄 五日夜十時頃京城 品類型友映器會では役員の京南道 れら首脳を織の参樂を求め六日、家人が最見、頭路署で犯人捜査由許、社會談長の新伝を見たので「後十日位の男の兒を選集しあるを決、社會談長の新伝を見たので「世談司三五張を願るん方門的に牛

午後四時半から府民館所開沿に委

※ 京日案内

建 店 明治町城梁中のオデー 明治町城梁中のオデー 四八 食気窓内社 市本取六一四八四

野來の

観本方針の

関策を

幽談した 風質を開催型友映器の事業報告と

西**•**由 トンテ西中

試驗 井醫院 の様式の選の条件を

本 有利に関相認立ます。 京城府古市町三五番地

機井町一ノ三八(元大正館通り

STANSON OF THE PARTY OF THE PAR

大猫は他一般空間疾病の心になる。

★萬年筆 ¥2.00;

仲居採用 可以金贝

として根

占有感数 23.6.4. つまでも配

包に替さ れる品と 云へば…

(新生年)にはいる (新生年)には、 (新生年)に、 (新生年)に、

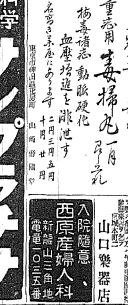
店員採用

院隨意

杨毒猪老 動脈硬化







つた変がニョックリ現れさらな鎌一るやらに白木の棺に向つて云つた 同六時三〇分(東)基礎佛指講座午前六時(東)ラヂオ避挫 同七時一分(第)類の修養 佐久 同六時 齊唱と童話測問七時 今日の天気見込 山) 同七時 今日の天気見込 山) 七日の番組 第一放送《火曜日》

既に開まされ、父の訃報を信じら

衝かれるやうな思ひがした。 白い歌唱百合の生花、町雷の印る いリボンの下つた花頭や、

節と、苦痛に引歪められた母親の 関一郎は、その見知らぬ人に戦つ 進士の際に振问くと、妹の苦白い で頭を下げて座敷へ上つて行った

|【兩氏共一回腦二人目初手合

関長 ▽ 中 小

に綴られたが、扱鶏の痩せた間 一郎は母親の間に取譲りたい衝

記八

・ さことでは、 ・ できたい、 ・ できたい。 ・ できたい、 ・ できたい。 ・ できたい。

双 龍子

□ 対 54 元 銀 闘は五五佳迄の局面

五八成佳(34分)

持以間各七時間 清聲時間 V四時間三十五分

母親の難に誘はれるやうに関一郎

です。ほとは次の指に向いてきいます。 「お田道が終うて来る話と思って「同九時(東)衛生メモ は、福の蓋も打付けずにある人だ「同九時(〇分)、実施連載・料理献立 上」。 「の 1 (の 1 (の 2) (の 2

活脚 タナバタ祭 脚範学校附属小學校児童

五九成母と角を取つた慈想道がに自重、三十四分の

(10)

虚質吸法の原引きを早くも関仮 ば指し切りは高高、そこでよのは今外の攻撃法を採る

河龙布莱 河西村海季子 相原 四顷(破壁順)

方へのニュース レコード音楽 町 同一〇時 ニュース (名原語・签 地方へのニュース (名原語・签

小泉君の五六金の出は此の類合 中であるが、これは未然に防げる 単であるが、これは未然に防げる あった筈である、即も期間 公金 易一郎

初めて運輸登業を開始したのであ 年、朝鮮では交それから廿七年選 世界に初めて隧道が敷設せられた ります、鑑迫は文明の先驅である 鐵道の話

愛しく値か百年位の間に今日世紀 て世界各國共非常に力を入れて居 ります、従つてその態度は質に日 上り他の交通機関の進歩にも拘ら

頭を凉しくする純植

二五年でありまして日本ではそれ から遅れること四十五年の明否五 れて明治卅二年に仁川鷺楽書間に の受用をかけて居りますが本来認 ず、その設備に速度に安全さに今

上からの必要のみならず政治上か

本紙一萬號記念懸賞小說二等書選

黎無斷上沒映點

剪字

同午後零時三五分(大)園民歌話レース編物に就て、高木美代子

子同三時二五分婦人の時間会楽を始まり

文の死に就いて吹しつゝ部り始め るのは身體によいか悪いか問の次の自動戦の中で、関一郎に 同六時二五分(東)蔣河玄縣一種才は、緩外しつかりしてゐて、 同六時二〇分(東)コドモの 」私とお母さんが、此處へつ

同九時三〇分 チエロ溺突

久間象山先生の本領(三) 午前で時一分(東)朝の修選 佐

| 〇時三〇分(東)郷人の時間 | 薄井 脳治

-午後七時五十八分より--女子青年のタ

『邱のステーションに沿いた時には』「猥技と云つたッて、外の事と遠 | らなかつた。只此時の色が鑞のや | つて、整数風邪一つ引いたことの 型いたのどうたが、耐一部が大「は事質を陰して語す外なかつた。 | 矢の頭は生きてある時とむしも蝎| 中で京城を田郷しました――。だる他口で作叫に廻る脚放製を打つ | 世郷に思いと思ひたがら、関一郎 | 蓋の唱から、椹の中を覗いた。 | たの。私達も何が何だかまるで夢 つて気が、んでも駆らんて――あ」うな無点味な色をしてゐるのが父一ないお父さんがっんだなんて本書 周一郎は母の手から蓋を取つて、 お母さんは、女中にも私達が此處の死を刷一郎の頭に刻か込んだ。 だと思へないんですもの。それで |棺の中の父の頭に聡々自分の顔を | へ來たことを口止めしてゐらつし 紫紹介 ポース・気象見込・腹間七時 ニユース・気象見込・腹ックス 女子青年のタ

周一郎は黙つてゐた。 ことちゃないけど・・・・・

『お父さん、間が民つて來ました

| た棚の間から渡んで来て懸落庫の | 思はうとしてゐらしたのかも知れ解を影響から遅んで来て懸落庫の | 思はうとしてゐらしたのかも知れ | 脚式は、夕方の四時から行はれ | はお父さんの元をそんな方法で一 たんです。若しかすると、お母さん (札幌) 二、廢員生活の変が、田中でいて、「大能章をうるまで、 (名古屋) 三、技能章をうるまで、

二日)銀川草船 河郡 秀子 2 同零時三五分 (大) 阿民歌謡 (第の銀河 柳亭 赤路

午後七時五八分(斉局) 俚謠 一仙) 俊徳明 君のお米を今に名のみを残してへこの古川の水上間へば、違つの

へ脱鉛どのはまだ十五にはならね

回時二五分

ども古武士を一途におたしなむ

〜荒松とのは刀を何と好まれた二 尺七寸波の上腕へ皆の紫揃うと

同四時ニュース(筑象通報・釜

飛唱 (イ) 屋まつり (ロ)

と空と陸の底、東京満汽船協丸間八時一八分(東)名所案内 海 郎村女子青年圏 新原さかえ(福)至橋県 福岡縣八女郡矢

売昭一星まつり

根據一作詢、菅一百作曲 午後六時一

、所は浪運の名も任の江の松にか

誰をまつのか松ばかり

階みに恥ぢぬ シック・ボーイの

| (第三日) | (第 伸光 同八時二〇分(大)人形弾瑠璃伸光 **同九時**(東)長唄 三、茶の葉もめくく大猫も小猫も 二、線がないなら八女茶にござれ もめた柴茶がお手のうち 失邓がよいかよ大淵がよいか 法院判事 脇 織一 3、こ皆七夕壁まつり、壁の窓々 三味館 杵量 榮齡外頭 芳百伊久四郎 竹本母遊太夫外 て来て皆に七夕さまのゐらつしや 一つてゐます、そこへ太郎さんが出 七夕さまは何處でせる』と話し合 ぎの暗白らして七夕脚は雨に立て、夜空は澄みて天の川、かさゝ らの脳気の星の冠を持つてやつて も一緒に歌び踊り始めます んが空のお星さまを眺め、一たい (便職) 今夜は七夕です。花子さ 一夜は香く鹿の園、鹿の宮殿ので 恋がゆれますにほひます 電話型 タナバタ祭」

「深輸機關は決して如何に
 「小なる危険をも受けるる人
 「かなる所屬品を装置して
 「一点のなるが、カナンは地で、
 「一点のなるが、カナンは地域である。
 「一点の性能を損じぬ様間、
 「一点の存在を御想起下さい。
 「一点の存在を御想起下さい。
 「一点の存在をので、カナンには、
 「一点ので、カナンには、
 「一点ので、カナンには、
 「一点ので、カナンには、
 「一点ので、カナンには、
 「一点ので、カナンには、
 「一点ので、カナンには、
 「一点ので、カナンには、
 「一点ので、カナンにはは、カナンには、カナンには、カナンには、カナンには、カナンには、カナンにはは、カナンにはは、カナンにはは、カナンには、カナンにはは、カナンにはは

齋唱と童話劇

イリス商會東京市赤阪區溜池町一五東京市赤阪區溜池町一五

1手製質店柳生商店

頭痛で 臺 北 大 連 奉 天 福 岡 靜 岡 京 城 東 京 神 戸 名古屋 大 東 京 神 戸 名古屋

で頭痛を怠れる

的です を要して、 のです。 を要して、 のです。 を要して、 のです。 のでは、 のです。 のでは、 のです。 のでは、 ので

更大 型泵 原田弁 原東

さすがメヌマは

若人のものだ!

美と氣品!

このできる できる

點 %光 %品 "容 にザキの以香の髪洗 ŝ ł 葛

MP-41

難い復星の天の川

魁の元將校及び常 名に死刑

起訴せられたるものは將校一名、元將校十八名、 【東京電話】七日午前二時陸軍省發表―去る二月二十六日東京に勃發したる叛亂事件 についてはその後特設せられたる東京陸軍々法會議において慎重審判中のところ直 七月五日その判決言渡しを終了せり、 兵一千三百五十八名、常人十名中 右軍法會議審判

表發省軍陸

泉 義

元 將 校

死刑

同

同同

兀陸軍步兵中尉 安

、謀議、與又は群衆指揮

P

同

同同同

兀陸軍砲兵中尉 H H 爾

安 H 優

死刑

同

橋 八太 源源

同

同

避難的賦世劉國の王領と一部

思想を包載す に一般的の根本 に一般の根本 に一般の根本

来前を受付東京方面の情勢を承知し相談りて同時に豐樹市在住間大、之より先き對馬勝雄は同月十九日豐橋の自宅に於て磯部淺一の交付せり

応と接觸し登 りしが昭和八 時間附級を排 でより我簡別 対しめんことにはいれば出いた。これが打倒にこれが打倒にこれが打倒にこれが打倒にこれが打倒にこれが打倒 和の背後には、 東東相撲つの不幹事を絶對に活起せしめざること
 東東相撲つの不幹事を絶對に活起せしめざること
 東の数別被吸の元兇を避にま増すること
 東の数別被吸の元兇を避に達増すること
 東の数別被吸の元兇を避に達増すること
 東の数別被吸を担いませい。
 東の数別を関すること
 東の数別を関すること
 東の数別を関すること
 東の数別を関すること
 東の数別を関すること
 東の数別を対したる変形の影響を追引を対しませい。
 東の数別を対した。
 東の数別を対した。
 東の数別を対した。
 東の数別に変化する。
 東の数別を対した。
 東の数別を対した。
 東の数別を対した。
 東の数別を対した。
 東の数別を対した。
 東の数別を対した。
 東の数別を対した。
 東の数別を対した。
 東の数別を対しました。
 東の数別を対しませい。
 東の数別を対しませ

重臣の殺害を謀る

し開人を殺害。

但し要用消消し近遠せしが

でお兵第一帰に対して込れる。

非順逆を誤

は上古の総令 は上古の総令 たるものと記 のるを以てい

つひに行動を開始す

の各様定事項につき左の如く行動かくて以上同志は担際結の上削記 行動の 概要

際数を設定し松配度数を開出空 能に認可大豆が代事が難能物度 約、請水製四郎、小館な代絵四名 類なる行と数でを開門、土井清 大日末何所献が兵第一級監神師大日末何所献が兵第一級監神師では所要の附を閉道といいで非常呼似を行び機翻訳 機加大臣自取を破壊し前取を被 際全民を会員に整列せしめ際国 2. 兵者を出郷し加田時代内部2. 兵者を出郷し加田時二十分 の趣趣を告げ、その一部を丹生 **開頭し認理大臣即由啓介を設門** 河岸野地に内部郡州大臣官邸を 「関」の関し自ら就解下士首兵 る位称を控制せるが二月 と削減しために同人を政治す 首相官邸の襲撃

日本語是前と四種製師人を設定 日本語是前と四種製師人を設定 高橋藏相を襲ふ

家にありし今根報道の酢に至り 関

令

最

戦

近

を

し

で

これ

を

撃

の

し 昭和維新能行のため高級蔵柜の **严,等扩大日午則三時賦中獨基** 開始競組を設定することなど決 め後者を以て詞取内に使入して 中島空間は同中国が内別住

は自由に後ず、しかし膨起は次。
野女と行動を共にすると否と 明かにせざるを以て中橋が明は 政権の趣なること告げ且行動を 甲族し回家を立ち去れり、今泉 記行は唯控氏を引撃せよ。と 野南脳性にの派遣すべきを単 我にすべく動揺したるも勘否を 近は「東公に至り底に已むを いれるが故に核兵副司令た

極ひ行動せんと決事するに至り 八腕を罪と同五時頃大野大臣高 背相回の仏殿を健闘し間人を良 育長約百二十名を指揮し前四 いで同四時頃中機是朝非常呼 三十分所長数を田蔵し自り突 を行ひ明治神智参拝と師し下 となし中央で明の心にに

明と共に製職技等衝除団兵を撃 R. 完治は中様主朝の指示によ ルシャニ公便館附近に位むし中 天いで一間問題を返去し 智したるが、二月二十六日午前 折断を容がならしむる仮称を始置部に受する 塩し陸流省、 谷牌本部開館の交

命せられ所閣部隊に開意せりたる後間十一時職動物の変代をたる後間十一時職動物の変代を 四時的連進が乗を行ひ下七宮兵機部減ご、春田市は、竹島線大山本文等とともに同四時三十分

齋藤内府を暗殺

四、安勝即三江侍任長日昭を皇聖 省般近に至り坂非郡隊の主力に 上侍能長鈴木貫大印教院の位務 安藤は鈴木既へ

新去し

独町三宅板附近に至れり

至らず同五時州分配一数部版を りこれを止まり強に殺害するに んとせしも大人挙子の無耐によ 三は侍仰以に「となめ」を刺さ の統則を貢はしめついで安勝即

趣、同五時道野の超前に調査しを指揮し個内陸二十分道長費出 呼ばる行びが土田見下の五百名 古版の行物を提當し、二月廿六は亡野中四郎指揮の下に緊急節 八十町 | 時頃会所郷中職に非常 門智母 河原選子、鈴木金安心

置して一時外部との通信を問告 し、更に出来を扱った一部を早

進売証太郎私邸に向び間大時曲 上を深して加入を教堂・門六時 上を深して加入を教堂・門六時 でかねての記述に基言赤坂難宮 肝自動性促性に掛乗し数性認識。

を指常せるが、一月二十六日午

警視廊を占據す

近に至わり、なほは低級太郎、安

明三時記載水中郷を行りを図る
金加に棚間をしめ同三第三十分
の現た出土場、同四時五十分即待
群芸の郷を優勝した御長に敷例
を経路を優勝した御長に敷例

陸相官邸を占據

夫人程子に助し 安田段は内大田子閣議議四は基礎を受職し前人を投票し直に高着 濟は主力部隊を撃るて確単省尉 間々邸を設実し坂非直、愛屋清はしめたる上間五時十五分軍一 て内唇の位置を助がんとしたる健康能人を發露しその脳身を以 理理派人を登得しその際母を以出級派元時間子解解機関仏邸を 太郎、安田母は政武器監戒湯髭太郎、安田母は政武器監戒湯髭 調って監修を引

近一の指示により直ちに飛用自

する部隊に有自動協心を交付し居たる。通機で即、安田陽の推揮 大臣 品版を顕真し更に選湯教育 大臣 品版を顕真し更に選湯教育 自動的ボー名を運物せしめ共に動物に搭乗し且つ兵二名をして 理念、中島法明、中島美加帯が現場であり、中島法明帯が 部別も即随場に移るため存合せ いで間九時垣を開安秀、仙田

八、一個好好、雌田俊學、中島影 は円用官能備付の背別目動車を続け、用きているののでは、日本ののでは、日本のののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本のでは 日本のでは、日本のでは 日本のでは、日本のでは 土成役人を五十名を指揮し軍用 通知心等の各社に題り概也要は、出知的心、我知知的社及び前期 前は前月二十六日午町九時日下 使用し以て連絡幅送に低じたり 問動行を不能ならしめ聞いて東 新聞化を製ひ同性をして一時新 兄は||薬間ů、病事質療ů、國 各新聞社を歴む 東用自動作一幅、自動促作二

作を配布しこれが規模を要求し て当相官邸に帰還せり 唯一一百世三日神芸川

を遠茂せもめんがため難別降九 を遠茂せも的紀かたる上降京し事代謝 化を作割したる上降京し事代謝 開港沖縄 一番 におりて開まの企園

陸相と面接し

田帝空、村中孝次、関節は、このも乙に鼠せず紀一節管証時致するのが、関い作を支援せり制配者。配得文を組みさけ説がせられた で復善は折衝を助せる山下少路に重勝を資はせしめたり、次い より軍官戦略において起案せる に関し条説を持つて財産し前人

田は城に彼な、龍東大臣川場大路を加拿って田城の大路の東京田田道は一届を代表、東上路は東城の大路の東京の東すると共 本一、二月二十六日東京方面の製造を終りたる部隊は東め記述せ 超所省及が登場機を占位し、 町局西州市地内一帯の交流を制 成しはて香田市は、村中孝文、 のしはて香田市は、村中孝文、 衛和校一などの関係首都部に関 交員機大時、小産経軍大道、山下少路、端井歩兵中佐を指式して事権が指に菩薩せられた言語 性新聞行のため香油を受取し、 一月二十六日午前五時前陸軍大丹生就忠の指揮する部隊と共に 一方武の下に右の旅跡を呼ばせ 戦令一部賑行されて後、野日同

戦隊自動門を以て撤送の任務を七、田中勝は所願野戦車個兵第七 自動車で連絡す

一個、同心的目動三配的一個に失い。 一個にお押をなすと辞し敬敬的日動地行車をかれ有國神の釈明自動地三 時態降軍大臣は脱に抑脅し機能に参拝しついで宮城を拝し間五に参拝しついで宮城を拝し間五 時三十分版下土館兵十三名に對換営せるが、二月廿六日午前二 々分乗せしめこれを指揮し午前! じて士官を護葬機職して耐日夕しぬたるが安原理三の部隊に投 て事をあげしめることに決定之 に努め之れを同志の部隊に通報 紹光等と連絡し外部情報の東集 励月二十六日以後步兵大尉起平 質包三百銭を入手せしめんとし 統及び質包を聴へ更に崇寵安秀れが質行のため削恕長谷郎の拳 に依頼し契銃館店より右拳銃の一十二、間月二十七日期村中孝次は

器解本部の鉄砂便宜を原道し

牧野伯を襲撃す 既、 新津事営に部隊を扱結する 撃るる所と たらず 結局自由語 である所と たらず 結局自由語 上三、二月廿八日朝村中冬次香出 りから間害権中科、安非少将であ、春田がほに戒談からのに至 ことに決定せるむもつて村中幸 戦闘準備をなす

也的

伊東国版館貨幣に記在中の牧 亡可野君は部裁川帰居可認町 より同中関が共指揮せる部隊を 機部隊として建に歩兵第一隊隊 兵質問虹に集結せしめられるに **刺命行動開始**

二十五日後娘ねて「嘘ぎがの路野神郎役」の住物を指指し二月 数に依り歩兵第一殿隊に集合せ 三を指揮し他学職第二級共働を計、原用灘、水上部一及稲里省 離に原備の制度質出現、中島海の出た東岸学術が除三列兵へ名

振行し際、千大日午町零階四十分配置駅出、 分配置駅出、開ビ分源出路し線 五両電源開助に銀行し伊東協 、銀貨運用を開催して収益開展 を要がたたるもとを確じし限を

下上自兵庫順

原部派に観火して之を施登した。 大工に使催を、近帰道火のきめ 大工に使催を、近帰道火のきめ 大工に使催を、近帰道火のきめ 大工に使催を、近帰道火のきめ のを推進性師し越光波ガレて屋水上第一は亡河野海の路師を良水上第一は亡河野海の路師を良い時間と観さを知るや閣様のも 百ほしめたるも途に牧野伸駆殺 るにより耐人を感役せんとして

内に難入し場は牧野神郎を願りばんとして家語に外を邸り歌は 近次のため取け付けたる海に別 のるたどの行動を取てせり、は のるたどの行動を取てせり、は 総領事分級に至りしが即所に於たるに依り一間東京第一衛送病

投入引清十単等をして相呼謝し となり清十単等をして相呼謝し て各々終に聞きたり

蹶起理由書朗讀

で折ち、この間に日午前十時 要請せり、この間に日午前十時 要請せり、この間に日午前十時 備司令目の方針に基書回二十六 師の下令せらる」や、なるべく 佐の指揮する一臓が配備せしめ 日夕より歩兵第一職隊長小職大 これが形除と強動の優を避け就

朝ラデオ放送師に関布せられたしが叛乱に部の最高を下高するに工り 職し伝統を職務し下土田兵に関 且包置部隊の逐次繁正せるを目 の既に開始せられたるを確認し るピラ筆により動命に基く行動 決を解放し即日夕何れも東京商 までに下土賞長の全部が職せる数十名を合せて同日午後二時頃 段は首相官邸に集合しその多?に至り祖後山本又を除くに言い は自狭を決撃したるも二部の指

人等の手権を自ら脱し録責せるし由語に帰還を施じさまに被批 又はその宗教心により同日正午 皮別形所に強制収容せらわ日本 統落れて母延用に釣ひしが三月

各下士官の 行動

上五、大江正雄、紫緑一郎は二月 際と共に翻起すべき行用期かさ 一大、厨田仲吉は二月二十五日丹 行動し至れり て京師問録に合成しこれと共に る機能下を撃めて首相は跳に於

野たる耐人より耶和維素版行の 野たる耐人より耶和維素版行の 想ずして参加を決試し二十六日 闘撃するものなるときを介知し が国家革新思想を抱恨しあると 非常呼樂の中陸長趾と共に中籍 人はその命令に假託して犯罪を 参加せることを決哉し撤職一出 脳の一部を知悉し至りたるより たる。本学者の何耐上これを拒み とを知るに至りたるを以つて同 **本願の指揮系統を隠れてこれに** を関する情を告げられていた二十六日 年間二時卅分城師人郷起集が胜 と続する様文を養み開かされ、 という様々を登け取に名中職 生はことり明二十六日早年を知 記話等による通信機闘の使用を含を撃みて陸軍省通討所に至り 御の下に电器を出銀午削五時頃。 の使務等につき知るで直ちにと 陸軍大臣官邸に到着するで兵五 れに参加を検証し非常呼ばによ し、昭和維新語行の言め際起す

たり、大正正様は総数に関し数記したとれて前記品度取割方路上にを収めて前記品度取割方路上に 中央が明と共に守衛第二小院長 **庭歌内に使人し観相の所在を挟** 正典過級地上至り流域一個共同 れるやかれた耐人より國家手類の思熱を強人せられるれた中間、上語なる所より本線線等を離れて直っに之れに参加を承認し同

学生逝せんと志子に至れり 調井中佐等の動物により健康省 々その所言を伝めその意胜を記 て一般の情勢好様せりと報じ 牧台に謝し要請する所ありしが で一部軍事参議官と貸却し事應 は日本後四時城盟財営版におい 拾に関するが数に基き者出語真 部後一海は北輝大郎より事態も 司を力裁し次いで村中孝次、磯 態を哲く是版せられたくしから 「調安男」に野中四のと総語、 されば軍隊相関つの危険性ある

空等態及び山土ホテル等に耐着 窓母、窓母、窓母、窓母、窓母、窓母、窓母、窓母、窓母、窓母、窓母、宮母、文母を管底、納 、 で、他してこれら那様に小鮨大 ず、耐してこれら部隊は小獅大 却つてまづ小騎大佐の命に従ひ 一同般位置を撤去するの必要を 親の風影響とに除へ復聞命句問題来四階の情勢急艦と斉龍網 打を繋びたるも北瀬次郎、西田 わる即数長及小膝大佐に対して 税等の電路機動と一部幹部数は 狭の狭心をなし関本説得にから あり、仍て首即指一川湾見で自て湾域をする言語域であるところ

間守して空職せんと狭意し間月 し包留部隊が弾隊の措置に出っし、戦は流言に逃ばされい第一隊 るにおいては聞くまで収位置を ありなる語も上民の不明に起因 避する結あり交第一線を指揮し

動すべき。同窓街通知ありたる戦の小職大佐の揖師下に入り行

を派知し小師大佐に對しその間

て原胸側節をなずに重れり 十二、北部、海绵市、野木 率い同時間の警戒に任ぜり

むべき首の物能に基く第一部屋 部版は独かに腹野部に伝導せし 可像は独かに腹野部に伝導せし

自決を決意 さしめは目のその時は縦を巡視 福坪大量は彫場門に至り各分院の小院校として約八十名を奪んて を割割して同即外那の類似をな し面後用間き部下を率んてに武

日後所謝中職週番七宗たる友生十八、林武及び新正夫は二月廿九 られは平器の命令機能関係に掛 他用なきも上質の目際に監念せ や自ら誰んで本行物に診加す 産上り配起の趣丁を告げられる

しつゝも日むなく意態内大臣邸 推言分類最もして常時内大臣は 受謝者に発付したるのも指示に包を取り出してれを同中能導動 水により機能が製師を開帰した 束せられその趣法なるとを批別 なほ新正天は出趣前坂非原の揖

林武は飛馬内大臣駅温泉に割り

一九、永山区、党込石市は一月 制下に参加せんとするものなる 朝鮮地して鈴木侍従長を服骸す 世景教育部監仏形観報に分院長録別せり、なは林道は右観慰後 電の戸を破地上間所より屋内に 命により経機網院を以て女中部 る質を開かされ耐人が能令の統一 歴質を理像したる際条銃方越を 上度常に使入し坂井直などが最入り旅劇質の所在を埋食して開 を署る同既内に嵌入し坂井直の 特権網第分隊長として兵十四百 明記の後に二月二十五日、豊郷・野藤の昭立に依り即攻撃や野時・安秀の昭立に依り即攻撃や野時・安秀の昭立になっては、一川、野郷・野崎の路に、日本の第二十五日、豊郷・野崎の路のでは、「東郷・野崎の路のでは、「東郷・野崎の路のでは、「東郷・野崎の路のでは、「東郷・野崎の路」という。

歴書官邸に闘死し山下殿殿長は 行動質励狂きこと聴賞なるを以 午前十時歌第一節戦司令部に至 化器しきに嵌り響くこれを保留 り部が長及び参照長に対し 命令を受難しこれが停理を企園 せり、これと前機して村中孝大

に對する要望を述べ部隊の配割に對し配担の愚蠢能に報音解形

性弱の大部心に非ざるべしとに 能を関係に参加せり ひ第七中院を上野中四部世帯の

り内大臣都が貫子の山間観 受けられるや之れに同様し次い番上宮坂井籠より聯起の趣言を 田及び長期は共に撤開部分職長に 韓即せり、右 職職後更に 何等報告することなく秘かに共 つ何れも所屈中除の恐衛士官に で屋内には人し安田役に聞いて 原を製職便属し或ひは自ら取ん は小腿竹次道にその胃を開く 原原は森はあらざる第十中国道 として披露教育部部も那段戦に で長湖一、州田正夫、樹木服式

の背部に對し歴史を観れたる機能 が人管硬安層郷三の指導に依つ 研究を志し記つ月が明許権新 ほ長爾一は人管町より調整の

「既当既に参加し同邸内に侵人し」 鮮せずその信念を有するに至れ 性とし直接行動をなずも取べて、と同性関係のためには一身を隠

別の思想自念に内地配飾し特に源っ、細則但三等は常にに原好 決行の時期を奇望し居りたる選

大学の宮市は第二小職長として大学の宮市は第二小職長として民族人十名を撃る開前総支門より総大を総大を対して対・第三と総の高下を撃るて開北省、第二と総の高下を撃るて開北省、第 下に兵祭を出籍、二十六日午前 して下土官兵物八十名を指揮、近に至り太田暦は第一小隊長と 木特征長に関し霊能を設け、ま

長初七十名を指揮し甲綱線八湖 二十、立石利三郎は第七中隊大 を求めらる るや所蔵 脈 退る士・りし野中国即より本行動に参加 と質句を取行して野中国際の質 議事堂、幸樂及び山土ホテル等 「可等の銀版することなく統 観を配射せり、宇治野は日本力

「東京は話」正八位世兵少尉今県

今泉少尉官位喪ふ

これに創意し且つ納刷を取ることに宝り参加快意を促さる」や 脚統飾分隊長として共二十名を

おいて牧車種類の協出及び醫療の米銀を解放し、次いで袋上腺の米銀を解放し、次いで袋上中の服内に燃腸性を発酵せり、 だいて牧野推奨の駐出及び警察 を関へ、歴初水上を催く開始社 よ軍法の謎の選邦を受けて野たがを関へ、歴初水上を催く開始社 よ軍法の謎の選邦を受けて野たが

で拠上とり物後日たる五月を以て宮町共び皆熟。るため、陸軍將官分限令の規定に

なり、紫湖四年の豚にぬせられた

本號外本紙不再錄

に、 漫画館の伊東屋旅館貨庫社 現けられるや、同れも明確を即 後季を登したるも、河野及宮田 器りては富田県は黒田麗及河野 は最初開節田に奥口より投入、

等端を延出し、次いで開催出版 開直路に駆け収許回題の配出を 解批中、次級に避けれ趣即な限 財立方法門に確確せるが女子版 の出こ方で門に確確せるが女子版 」に述べたるが知し 出土に記載し成場せり、水上語 一の行動に就ては行前(編型「十

その中に安野伸頭も高八しあるべしと直続し之に向ひピストル登録を避けせり、中島清流、川島清流、 度に掛り機関的父は零説を以て

婚女子が避難問題し思るを認め

変のもの三名を終記する**ない